

平成27年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉会

法人本部

事業概要報告

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は 112 年の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、



社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。

平成 27 年度は、社会福祉法人芙蓉会を理解いただくために、地域社会との信頼関係を構築し更なる質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、法人理念の下、透明性（情報公開）の積極的な取り組みを推進し地域社会の信頼性を一層深めるよう努力いたしました。

また、マイナンバー制度（平成 27 年 10 月：個人番号通知、平成 28 年 1 月：個人番号利用開始）に向けた安全管理体制、情報漏洩防止策等を進め、各種保険等の法人一本化を図ることによる経費削減に努めました。

基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。



理事会



評議員会

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	出席者数			議 案
	理 事		監 事	
	出席	書面出席		
H27. 4. 18	8	2	2	1. 理事長の選任について 2. 理事長の職務の代理者の選任について
H27. 5. 27	8	1	2	1. 平成 26 年度指導監査実施結果について 2. 平成 26 年度事業報告について 3. 平成 26 年度決算報告について 4. 平成 26 年度監事監査報告について 5. 乳児院資金の積立（案）について 6. 給与規程細則一部改正（案）について 7. 定款変更申請について 8. 評議員の選任（案）について
H27. 10. 28	8	2	2	1. 平成 27 年度指導監査実施結果について 2. 平成 27 年度追加・変更事業計画（案）について 3. 資金の積立（案）について 4. 平成 27 年度第一次資金収支補正予算（案）について 5. 就業規則一部改正（案）について 6. 施設長の人事案件について 報告事項 1. 理事長専決事項について 2. みぎわ園大型物品設備更新について
H28. 3. 25	7	0	2	1. 資金の積立（案）について 2. 平成 27 年度第二次資金収支補正予算（案）について 3. 平成 28 年度事業計画（案）について 4. 平成 28 年度資金収支予算（案）について 5. 給与規程細則一部改正（案）について 報告事項 1. 理事長の専決事項について

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監 事	
H27. 5. 27	16	2	1. 平成 26 年度指導監査実施結果について 2. 平成 26 年度事業報告について 3. 平成 26 年度決算報告について 4. 平成 26 年度監事監査報告について 5. 乳児院資金の積立（案）について 6. 給与規程細則一部改正（案）について 7. 定款変更申請について
H27. 10. 28	18	2	1. 平成 27 年度指導監査実施結果について 2. 平成 27 年度追加・変更事業計画（案）について 3. 資金の積立（案）について 4. 平成 27 年度第一次資金収支補正予算（案）について 5. 就業規則一部改正（案）について 報告事項 3. 理事長専決事項について 4. みぎわ園大型物品設備更新について
H28. 3. 25	16	2	1. 資金の積立（案）について 2. 平成 27 年度第二次資金収支補正予算（案）について 3. 平成 28 年度事業計画（案）について 4. 平成 28 年度資金収支予算（案）について 5. 給与規程細則一部改正（案）について 報告事項 1. 理事長の専決事項について

2 監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項 目
H27. 5. 9	勝又長見	H26 年度業務執行状況
	鈴木英之	H26 年度財産状況



会計監査



処遇監査

3 役員研修会の参加

開催年月日	研 修 場 所	内 容	参加者
H27. 4. 15	グランシップ	監事監査研修	監事 1 名 理事 1 名

4 寄付金

5, 236, 467 円 （本部 3, 438, 900 円、ひまわり園 1, 313, 258 円、みどり園 334, 309 円、みぎわ園 150, 000 円）

5 植松茂子奨学基金

45, 688, 360 円 （平成 28 年 3 月 31 日現在）

6 法人行事

開催年月日	行 事 名	場 所
H27. 4. 1	辞令交付式	みぎわ園「地域交流室」
H27. 4. 9	新任職員研修会	みぎわ園「地域交流室」
H27. 4. 11	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H27. 6. 3	美化運動（春）	芙蓉会敷地内
H27. 6. 10	創立記念式典	みぎわ園「地域交流室」
H27. 8. 6	美化運動（夏）	芙蓉会敷地内
H27. 8. 22	夏祭り	芙蓉会グラウンド
H27. 10. 2	町内清掃・美化運動（秋）	芙蓉会周辺
H27. 10. 18	市民福祉祭り	富士市中央公園
H27. 10. 23	普通救命講習会（第1回）	みぎわ園「地域交流室」
H27. 11. 10	普通救命講習会（第2回）	みぎわ園「地域交流室」
H27. 12. 9	普通救命講習会（第3回）	みぎわ園「地域交流室」
H27. 12. 25	クリスマス会	ホワイトパレス
H28. 1. 4	新年挨拶会	みぎわ園「地域交流室」



辞令交付式



新任職員研修



奉仕作業



創立 112 周年記念式典



夏祭り



市民福祉祭り



クリスマス会



新年挨拶会

7 機関誌発行



8 ホームページ更新

主な公開

- ・ H27 年度法人行事、寄附行為等
- ・ H27 年度事業計画、予算書
- ・ H26 年度事業報告、決算書
- ・ H27 年度広報誌掲載
- ・ H27 年度職員募集掲載
- ・ H28 年度職員採用情報
- ・ H27 年苦情受付情報
- ・ H28 年理事長新年挨拶



9 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正 規	非常勤	正 規	非常勤
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	5 名	1 名	5 名	—
みどり園	6 名	7 名	2 名	4 名
みぎわ園	10 名	2 名	6 名	3 名
計	21 名	10 名	13 名	7 名

(2) 労災・傷病・休職・産休・育休等

施設名	労 災	傷 病	休 職	産休・育休
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	1 名	1 名	—	—
みどり園	—	—	—	1 名
みぎわ園	1 名	—	—	7 名
計	2 名	1 名	—	8 名

10 苦情対応

苦情：0 件

お問い合わせ：8 件

(法人本部 0 件、ひまわり園 4 件、ひろみ 0 件、みどり園 2 件、みぎわ園 4 件)

児童養護施設 ひまわり園（定員 90 名）

事業概要報告

平成 26 年度に全国の児童相談所に寄せられた虐待相談件数は 88,931 件で、年々増加傾向にあります。児童人口が減少傾向にある中、この実態は大変深刻な状況であるといわざるを得ません。特にアタッチメントが重要な乳幼児期からの虐待は死に直結するリスクが高く、同時に人の成長、発達に多大な影響を及ぼします。あらゆる事情で親子分離を強いられた子どもたちが人



との信頼関係を構築して行くためには非常に長い時間を要します。ひまわり園でも職員は日夜時間を惜しまず子どもたちの養育に力を注いでいます。しかし、中にはアタッチメント形成がうまくできず苦勞することもあり、また、子ども間のトラブルなど日々様々な問題に追われることも少なくありません。

平成 27 年度は、児童 72 名（男子 34 名、女子 38 名）でスタートしました。年度内の新規入所は 8 名（男子 5 名、女子 3 名）で、そのうち 6 名（75.0%）が被虐待経験のある子どもです。また、退所した児童は 13 名（男子 6 名、女子 7 名）で、その内訳は、家庭引き取り 6 名、高校や専門学校を卒業して自立した児童 4 名、施設の変更 3 名（児童自立支援施設、県外の保護者の居住地の児童養護施設、障害者支援施設）です。

児童自立支援施設に措置変更となる事例が発生したことは大変残念なことで、様々な課題を背景にした子どもの問題行動への対応に苦慮しました。個々のケースにおいて、子どもの問題、家族の問題、職員の関わり方の問題など、取り組まなければならない事案が山積しており、今後の更なる努力が求められています。

一方で、家族調整が良い方向に向かい家族再統合が実現したケースが増え、努力の成果も見えました。一時帰省や面会だけではなく、週末や連休を利用した帰宅訓練や家庭訪問を実施し、より家庭との関係を深めるよう努めました。

また、27 年度は高校を卒業した後に将来の目標に向け進学を希望した児童が 2 名おり、それぞれ希望の短大に進学することができました。近年は「こどもの貧困対策」の一環で、児童養護施設入所児童や里親委託児童への進学支援も少しずつではありますが整備されてきており、子どもの希望が叶うように継続的な支援をしていきたいと考えます。入所児童の家庭の 7 割弱が母子家庭であり、さらにその保護者の多くは、圧倒的に中卒が多いというまさに現代の子どもの貧困問題にさらされている現状から、貧困の連鎖を断ちきるために高等教育を受けることができる環境の整備は非常に重要な課題であると考えます。

重要事項報告

厚生労働省の「社会的養護推進計画」が進められる中、職員配置の最低基準が「子ども：直接処遇職員」の比率が「4：1」に改善されました。また、児童の措置費保護単価が改定されたことにより、児童支援により力を注ぐことができるよう改善されました。そうした流れの中、ひまわり園でも平成 28 年度に「小規模グループケア」（8 名以下の生活単位）を 1 カ所開設することになり、より家庭的なケアを実施するために職員のワーキンググループを設置して検討を進めました。



【富士市市民福祉まつり オペレッタ】

平成 27 年度の入所児童数の月平均は 75 名（充足率 81.1%）でした。全体的に幼児の構成割合が減少傾向にあります。これは国の進める「家庭的養護の推進計画」や児童福祉法の改正に示される養子縁組や里親委託を最優先とする方針に依るものだと考えます。

そのため入所児童数における幼児の割合は下がり、高齢児の割合が高くなってきています。大学等への進学支援と合わせ、こうした傾向は今後も続くと考えられます。

事故およびヒヤリハット報告（資料 17）

①事故件数 9 件 ②ヒヤリハット 6 件

苦情および要望に関する報告（資料 18）

①苦情 1 件 ②要望 2 件

基本目標1

平成28年度に小規模グループケア1カ所の実施に向けた検討と具体的準備を進めます。（資料14-⑥）

小規模グループケアの実施に向けてワーキンググループを設置し、計6回検討会を実施しました。また、実施施設の施設長を講師とした研修会に参加し具体例を学ぶと共に人材育成の方法を学びました。その他各種研修会に職員が参加して技能向上に努めました。

基本目標2

家族と離れて生活する子どもたちとの愛着・信頼を深め、安心して安全に生活できる関係と環境を保障すると共に、権利擁護意識の向上に努めます。（資料4、5）

臨床心理士、個別対応職員を配置し、個別セラピー、個別対応の充実を図りました。また、性教育、セカンドステップなどを通して、自己覚知および人とのよい関係づくりの基礎力を高めるためのプログラムを実施しました。入所児童への年2回の意識調査、職員自身による毎月の接遇チェックを行い、子どもの権利侵害の防止に努めました。入所依頼のあったケースでは事前の施設見学やひまわり園の生活について説明するなど、情報提供を積極的に行い、入所してくる子どもが安心して生活できるよう配慮しました。



【権利擁護研修会】

基本目標3

生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。（資料6、7）

児童会「ひまわりの種」を開催し、子ども達の主体的な活動を支援しました。小学生は登下校の交通安全、遅刻の問題などを話題にみんなで話し合い、また地域の子ども会活動、野菜の栽培など高学年を中心にした活動を展開しました。中高生では芙蓉会の夏祭り、富士市福祉まつりの模擬店のドーナツづくりや販売、クリスマス会の余興、園内でのカラオケ大会の主催など、大きなイベントでその力を発揮しました。



【ひまわりの種主催 カラオケ大会】

ユニットごとに実施される行事では、なるべく個々の子どもの意見を尊重し、希望に応じた行事を設定しました。

基本目標4

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。
また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。

（資料8）

ひまわり園で長い歴史を持つボーイスカウト活動（登録13名）では募金活動を通して市民の1人という自覚を育み、またキャンプや凧づくりなどの野外活動で様々な技術を学ぶ機会を持ちました。サッカー少年団（登録11名）では個人の技術とチームワークを高めるために練習を積み重ね、地域の各種大会に出場しました。

子ども会活動ではドッジボール大会に高学年女子、低学年混合チームが出場し、吉原小学校区で



【第36回静岡県児童福祉施設冬季球技大会】

基本目標5

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。（資料10）

学習ボランティアの協力を得ながら学習支援を行い、中学生は全員が高校進学を果たし、高校生でも複数の子どもがクラスでも優秀な成績を収める中、地元の優勝企業へ就職し、更には、2名の女子が短大に進学しました。短大に進学した児童はそれぞれに高校時代にアルバイトで頑張って進学のための資金を蓄えたり、部活動で活躍して自分の目標に向けて努力をしました。児童養護施設入所児童のための各種奨学金制度に応募し、高い競争率を突破して返済不要の奨学金も獲得し、卒業時に多額の負債を抱え込むことがないように努めました。その他にも27年度に特別支援学校を卒業して就職した児童を措置延長して20歳まで生活の自律に向けた支援を行うことにしました。

高校生を対象に「就業セミナー」（メディアベースの協力）を学年ごとに延べ20回実施しました。職業観、社会観などを考えたり、ディベートを通して意見交換を行い、自立に向けた意識を高めることができるよう取り組みました。

基本目標6

家族再統合のための保護者との関係強化および行政機関、里親、学校等との社会的養護の連携に努めます。（資料9）

年間を通じて、面会や家庭訪問、一時帰省など保護者に積極的に働きかける中で、6名の子どもが家庭に戻ることができました。しかし一方では、行方がわからない保護者、関わりを拒否する保護者もあり、3月1日在籍児童のうち16名は保護者との関わりが持てず、手紙や家庭訪問を行って関わりを求めても叶わず、子どもの期待に応えることができず悔しい思いをすることもありました。措置機関である児童相談所が多忙だけでなく、子どもを保護した後の保護者への対応の脆弱さが制度上の問題

としても存在しています。

里親家庭との連携においては、里親希望者の認定前研修に協力すると共に、ふじ虹の会総会、年2回の連絡会、調整会議に出席して意見交換を行い、ショートルフランの実施にも努めました。在宅支援では、緊急一時保護やショートステイの依頼を受けることで対応しました。

基本目標7

子どもの健康に配慮すると共に、防災教育を推進し、健康で安全な生活を支援します。

（資料11、12）

健康診断、インフルエンザの予防接種は嘱託医において頂き実施しました。部活動の関係でなかなかスムーズに実施できないので今後と課題となりました。日常の感染予防など衛生管理を感染症対策委員会が中心となり、施設内の衛生管理、感染症の対策などを行いました。インフルエンザの罹患も今年度は少人数に抑えることができました。

子ども達の健康維持に向け、食事においてはバランスの良い献立を組

み、「嗜好調査」や「誕生日希望献立」など子どもの好みや記念日を取り入れ、また季節ごとの行事食を提供することで食育に努めました。

防災教育に関しては、毎月、避難訓練を実施しましたが、儀礼的なものになってしまうことが課題と存在します。被災時の必要な用品、備品、設備の見直し、被災時の対応、地域との連携等について見直しが必要かと思われます。



【夜間避難訓練】

基本目標8

実習生の受入れを継続的に実施して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。（資料15）

保育士養成校から依頼を受けた実習生を年間で23名受け入れました。その他、学生の自主実習も3名受け入れました。28年度の新規採用職員となった4名のうち、2名がひまわり園での単位実習、2名が自主実習の経験を経て、ひまわり園での就職を希望しました。



【卒業・旅立ちを祝う会】

平成27年度 固定資産取得・廃棄状況

【 取 得 】

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	取 得 の 理 由
70-02203	ノートパソコン (クレジットカード)	H27. 12. 19	138,240 円	老朽化により修理不能
90-02005	マイナンバー収集管理ソフト	H27. 9. 3	65,880 円	危機管理対策（法人一括）

【 廃 棄 】

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	廃棄・売却等の理由
70-02101	デスクトップパソコン	H22. 3. 31	1 円	WindowsXPパソコン終了に伴い廃棄
70-02102	デスクトップパソコン	H22. 3. 31	1 円	WindowsXPパソコン終了に伴い廃棄
70-02103	デスクトップパソコン	H22. 3. 31	1 円	WindowsXPパソコン終了に伴い廃棄
70-02070	レーザープリンター	H13. 4. 27	1 円	老朽化により廃棄
70-02073	通信機器	H15. 2. 3	1 円	老朽化により廃棄

平成27年度 施設整備・補修工事一覧

実施内容	場 所	金 額
ガラスルーバー修理	2階男子トイレ・りんどう	30,240 円
浴室換気扇修理	けやき	31,320 円
ガラス修理	けやき	31,428 円
居室照明	大地	44,280 円
本館玄関排水工事	2階正面玄関	45,000 円
換気扇修理	銀河	61,560 円
ガラス修理	幼稚園	36,720 円
誘導灯ランプ	5ヶ所	33,480 円
給湯機及びシャワー栓取替	かえで・銀河	68,040 円
非常用発電機修理		356,400 円
脱衣所床修理	大地	98,000 円
保管庫修理	1階厨房	87,156 円

平成27年度 補助事業

項 目		金 額
静岡県学習改善事業	タブレット3台	255,000 円

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

事業概要報告

平成 27 年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け（承認年月日：平成 27 年 4 月 1 日）、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。



平成 27 年度は、小学生 1 名、中学生 1 名、高校生 2 名でのスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持てるように努めました。高齢児が多い為、出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

小学生女子の入所が 2 名ありましたので、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、児童相談所や学校と連携し、支援してきました。その内 1 名は 9 月に家庭引取りになり退所となりました。

昨年度は、高校受験をする児童がおりましたので、本人が希望する進学が実現できるように努めました。学力的に困難がありましたが、中学校や児童相談所による協力により、何とか市内への高校に進学することが出来ました。

地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事へ主体的に参加、協力することで、町内会の方々から感謝の言葉を頂けることがありました。日々の交流の中で、少しずつではありますが、地域の方々に受け入れられ、施設への理解が深まってきていることを実感出来ております。

児童福祉施設の小規模化、地域化が求められている中で、他施設の見学や資料提供などの依頼がありましたので、積極的に受け入れていきました。栃木県で実施されました第 30 回関東ブロック児童養護施設職員研修会では、ひろみ職員が意見発表をさせて頂きました。そこでは現場職員が実際に感じている地域小規模施設の現状や課題、ひろみが培ってきた実践的な知識を発信することが出来ました。

重要事項報告

昨年 5 月に保育士 1 名が体調を崩し、約 1 ヶ月間入院することがありましたが、その際、本園の個別対応職員の協力を求めることがありました。今後も本園からの具体的な協力体制を整えることが課題であります。

今年度も入所児童の確保することが困難でした。現在の年齢構成上、小学校低学年程度（女子）の児童を望んでおりましたが、入所依頼はほとんどなく、また本園から移行する候補児童も選定しておりましたが、転校が伴う為、慎重にならざるを得ませんでした。出来るだけ早く定員 6 名を充足出来るようにしていきたいです。

また昨年度でひろみ開設当初からおりました女性保育士が退職しました。今後もひろみの児童が安定した生活が送れるように本園の協力を得ながら努めていきたいです。

恩賜記念みどり園 （定員 30 名：暫定定員 24 名）

事業概要報告

平成 27 年度は暫定定員 24 名で事業を実施しました。年間の充足率は、定員換算で 73.9 %でした。受け入れた乳幼児の内訳は措置入所 9 名（内 7 名は一時保護からの切替）、一時保護 18 名、富士市のショートステイ 9 名（保護者 1 名別）計 27 名。措置入所の 2 名の新生児と、富士市のショートステイ対象児の一部



を除き、入所依頼当日の受け入れを希望する緊急一時保護のケースが増加しています。

緊急一時保護時の子どもに関する情報は、受け入れ職員の聞き取りにかかっています。一時保護対象児やショートステイ対象児は児童相談所やこども家庭課の担当者が引率同行するので、必要な情報が十分得られない場合があります、児童相談所の担当者が折り返して保護者の聞き取りに行くことも少なくないのが現状ですので、受け入れる側としてのリスクは計り知れないものがあります。子どもたちは何も状況が理解できずに保護者と離れ、分離不安は計り知れない状況なのですが、受け入れ時に親を求めて大泣きをする子どもが減少しています。そんな子どもたちを「泣ける＝自己主張ができる」子どもに育て直すこと現在の乳児院に課せられた役割であると考え、職員やみどり園に力を貸してくださる方々の協力を得て、平成 27 年度を無事に乗り切ることができました。

退所児童は 14 名、家庭復帰率は 28.6%、里親委託率は 21.4%、児童養護施設への措置変更率は 35.7%、残りの 14.3%は障害児施設やファミリーホームへ措置変更でした。措置児童の家庭復帰率は減少傾向にあります。（一時保護解除児童の家庭復帰率は 90%）

運営面では、「率先垂範」や「後ろ姿の教育」をかねてより推奨してきましたが、職員間の意思疎通をより強固なものにするために、平成 27 年度は園内研修として、副主任以上の指導担当職員を対象にビジネスアサーションの研修会を開催しました。

また、静岡県からの要請で、「愛着形成プログラムによる子育て支援事業」を受託しました。これは乳児院の持つ機能を、より地域のために活用するという主旨のもと、乳児院の職員と共に学ぶ研修会を開催し、延べ 32 名の地域からの参加者を得て、乳幼児の愛着形成について共に学ぶ機会を持つことができました。アンケートでは次回の開催を希望される声を多数いただきましたので、今後も継続できる方法を検討していきます。

当園の最大の課題である看護師の充足の問題ですが、平成 27 年度中に常勤の看護師 1 名と非常勤の看護師 4 名を採用することができました。常勤職員の採用ができるように募集を継続しています。

重要事項報告

(1) 保護単価の改正について

厚生労働省の「社会的養護推進計画」に示されていた職員の配置基準の改正が平成 27 年度に行われました。これにより、子ども 1.6 人に対して直接処遇職員 1 人の配置であった 0 歳・1 歳児の配置基準が、子ども 1.3 人に対して職員 1 人に、3 歳以上の年少児が子ども 4 人に対して職員 1 名から、子ども 3 人に対して職員 1 名に改善されました。みどり園ではこの基準に対応するよう直接処遇職員の増員に取り組みました。

(2) 感染症について

平成 27 年 9 月 3 日、前日緊急一時保護した 11 ヶ月の男児が RS ウイルス感染症と診断されましたが、観察室での隔離中であつたので感染症対策を強化しました。

9 月 11 日に 11 ヶ月の男児と 1 歳 0 ヶ月の女児に感染と診断され、9 月 17 日迄に計 7 名が感染、9 月 11 日に感染した 11 ヶ月の男児が 6 日間入院しました。いずれの児童も 3 日程度で上気道炎や気管支炎の症状が落ち着き軽快しています。感染症対策は当初 1 ヶ月程度を予定していましたが、10 月中旬より県内で感染性胃腸炎が流行している情報が入ったので、哺乳瓶や食器消毒および職員のマスク着用等の対策は年度末まで継続して実施しました。

平成 28 年 1 月 18 日に 1 歳 4 ヶ月の女児が感染性胃腸炎の疑いと診断されました。帰園時より隔離対策を行いましたが、その後の通院で風邪と診断され隔離を解除しました。

平成 28 年 2 月 9 日～3 月 16 日の期間に 3 名の職員がインフルエンザ B 型に感染しましたが、5 日～7 日間（解熱後 72 時間）出勤をさせず、自宅で療養させました。園内では 9 月の RS ウイルス感染以降感染症への対策を継続していたので、インフルエンザや感染性胃腸炎等の園内への侵入を防ぐことができました。

(3) 静岡県より委託された「愛着形成プログラムによる子育て支援事業」について

平成 25 年度から継続された「静岡県被虐待児等処遇向上モデル事業」は平成 26 年度で終了しました。平成 27 年度は新たに静岡県より施設の機能を地域に役立てることを目的とする子育て支援事業の受託についての相談を受け、当園で実施している地域貢献事業である「ショートステイ事業」や「赤ちゃん 110 番」の他に何ができるか検討させていただき、下記の事業を実施することで契約いたしました。

講演会の開催については、契約日から開催まで役 2 ヶ月という時間の制限があり、参加者数は各回とも定員を下回りましたが、アンケートの結果は大変好評であったと判断できるもので、講演の時間が足りないというお叱りの意見と共に、次回開催を望む意見を多数戴きました。

愛着形成プログラムによる子育て支援事業

テーマ：乳幼児とのよりよい愛着形成のために

（プログラムの実施、講演と演習による子育て支援）

① 愛着形成プログラムの実施

月に2回愛着形成を促すリトミツクの実施

開催期間：平成27年11月25日～平成28年3月25日

開催回数：9回（県委託分） 参加児童数・延107名

② アタッチメント理論とその活用について（講演）

講師：小児精神科医師 山崎知克 氏

開催日：平成28年1月24日（日）

開催時間：10:30～11:45 場所：ロゼシアター第1会議室

参加者数：31名 （アンケート回収数22名71%）

③ わらべ唄、子守歌を使って親子のスキンシップ（講演・演習）

講師：西村やえ 氏（NPO法人 ふじのくにハーモニー理事）

開催日：平成28年2月6日（土）

開催時間：10:00～11:45 場所：ロゼシアター第1会議室

参加者数：20名 （アンケート回収数18名90%）

愛着形成プログラムによる子育て支援事業講演風景



アタッチメント理論とその活用について
講師 山崎知克先生



わらべ歌・子守唄を使って親子のスキンシップ
講師 西村やえ先生

(3) 受変電設備の取替工事について

平成 27 年度の設備改善計画で予定していた受変電設備の工事ですが、下記の日程で入札を執り行い、落札業者であるヤマグチ電機株式会社様の施行により平成 28 年 2 月 24 日に無事に取り替え工事が完了致しました。

- ・ 公示期間 : 平成 27 年 11 月 2 日～11 月 10 日
- ・ 現場説明会 : 平成 27 年 11 月 28 日 13:00～ 場所 : みどり園会議室・現地
- ・ 入 札 : 平成 27 年 12 月 7 日 10:00～ 場所 : ひまわり園会議室
立会人 : 戸巻芙美夫理事長・鈴木英之監事・勝又長見監事
内藤順敬理事
- ・ 落札金額 : 8,596,000.- (ヤマグチ電機株式会社)

現場説明会 (2015.11.28)



入札 (2015.12.7)



受変電設備取替工事 (2016.2.24)



古い受変電設備が撤去され、新しい設備が設置されました。

施設整備等

(1) 固定資産計上取得物品等

①建物取得支出（2カ所）

- 1) 園舎2階食堂のキッチンリフォーム
- 2) 園舎1階職員流しのリフォーム

②建物付属設備

- 1) 受変電設備（キュービクル）1機

③器具および備品

- 1) 手指消毒器 1台（厨房西側出入り口設置）
- 2) 空気清浄機 2台（園舎1階廊下設置）

④ソフトウェア取得

- 1) マイナンバー収集管理ソフト 一式（法人一括）

(2) 固定資産廃棄・移管物品等

- ① 園舎1階空気清浄機 2台 （残存価格：1円）
- ② 事務所移動書庫 （残存価格：1円）

施設整備記録写真

園舎2階食堂のキッチンリフォーム



園舎1階職員流しのリフォーム



基本目標1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りへの取り組みを心がけ、健康に留意し、心身の発達支援を行うと共に、みどり園としての家庭的養護推進計画の実現をめざす。

実施目標① 愛着形成についてのプロセスやそれに関する取り組みについての理解を深め、小規模化に向けた処遇形態の見直しに取り組みました。

平成 27 年度は小規模グループケアの申請を行いませんでしたが、感覚過敏等の発達上の課題等から児童養護施設では受け入れが難しい 2 歳～4 歳の幼児 6 名を対象とした小規模グループケアを実施しました。子どもたちのペースを尊重しながら、より沢山の生活経験をするを主題に掲げ、勤務者をできる限り固定しながら常時 2～3 名の職員を配置し、幼稚園の体験教室に参加する等の社会体験を増やした結果、3 歳児 1 名が里親委託、2 歳児と、3 歳児各 1 名が児童養護施設へ措置変更され、最年長の 5 歳児は平成 27 年 4 月より正式に幼稚園へ通う事が出来るようになりました。

また、本体施設でも日中の非常勤保育士等の雇用を増やし、人手の必要な早朝や、午前中の通院や夕方からの時間帯に勤務を集中させて、子ども達が担当養育者と個別に過ごす時間の確保や、分散養育の機会を増やすなど、養育単位の小規模化を心掛けました。



小規模グループケア（食事）



小規模グループケア（お昼寝）

実施目標② 小児精神科医師山崎知克先生のビデオカンファレンスの実施や、愛着形成の講演会を実施するなど園内研修の充実を図りました。

平成 26 年度迄で廃止となった静岡県の「被虐待児処遇向上モデル事業」で実施していた、山崎知克医師の愛着関連行動評価と「ビデオカンファレンス」を 1 回でしたが、園独自で開催することができました。

子ども達の気になる行動についての有効な関わり方を学ぶ、貴重な機会を継続することができたことや、愛着関連行動評価も年 2 回の調査を継続して実施しました。

ビデオカンファレンスを通じて、調査での数値では現れない養育上の取り組みへの良い評価が得られ、継続して行っていくことの大切さを実感しました。

実施目標③ 家庭的養育の推進にむけて、援助形態の安定化を図り、発達の遅れた乳幼児の支援の柔術に取り組みました。

静岡県モデル事業がきっかけで始めたリトミックも3年目を迎え、平成27年度も隔週1回60分ずつ、幼児のグループを対象に年間延べ24回実施することができました。

子ども達にも定着してきており、日常の遊びの中で、リトミックで習った歌を口ずさむ子や、遊びを模倣する子どもたちが増え、表現力の助長や、関係性の向上等に良い成果が見られています。

また、本年度から園独自の事業となったプレイセラピーを発達に課題を持つ4名の幼児を対象に、毎週金曜日と、隔週の火曜日の午前中に実施しました。1日2名のセッションの回数は、多い子どもで34回、本年度から始めた子どもでも13回受けることができました。いずれの児童も行動評価での数値的改善や、安定の傾向が認められています。

1. 小児精神科医によるスーパーセッション・「ヒステリカソファリス」を1回受けました。
2. 新規採用職員を対象にテーマを定め、「新任研修会」を開催いたしました。
3. 小池喜子セラピストによるプレイセラピー(対象4名)52回開催しました。

(平成27年4月13日より 毎週金曜日と隔週火曜日 1回40分)

[資料7-(5)参照]

基本目標2

乳幼児の権利擁護について職員に徹底し、乳児院自己評価を実施することにより、一層充実した支援を心掛ける。

実施目標① 全国乳児福祉協議会作成の倫理綱領などを活用し、児童の権利擁護推進に取り組みました。

全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を月例会やケース会議の前に唱和する事で、定期的に職員が確認する機会を設けました。全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」の内容を反映させた、みどり園の行動指針を定め、管理規定の巻末に表記し、自らの行動を振り返られるようにしました。

実施目標② 乳児院内における権利侵害や、養育不全状況についての見識を深め、防止に努めました。

新規職員に新任研修会を通じて、子ども達への権利侵害に該当する事柄の説明や、職員としての心構え、就業規則などの説明に加え、法人創立から現在までの歴史を通じて、法人創立者渡邊代吉氏や、戸巻俊一前理事長の思想や、法人の理念や、先達が守り続けてきた養育に対する姿勢等について学ぶ機会を設けました。

また、新任職員には年間の指導担当者を個別に配置して相談支援を行いました。

全国乳児福祉協議会総務委員会や、関東ブロック乳児院協議会運営委員会に職員を派遣し、最新の業界情報等を入手し、職員会議等で権利擁護の遵守や権利侵害が起こりやすい状況などを紹介しながら注意喚起・職員指導を行いました。

実施目標③ 社会福祉施設第三者評価内容評価基準等を基に自己評価を実施し、目標達成計画の見直しを行いました。

第三者評価・自己評価委員会を年間で 10 回開催し、改正された「社会福祉施設第三者評価内容評価基準」および、「第三者評価共通評価基準」を使用した自己評価を常勤職員全員に実施しました。この結果を基に、昨年作成した、改善に向けた取り組み・改善計画の検証を行い、改善計画の修正を行い、乳幼児の養育環境の充実や、運営に関する職場環境の整備に努めました。

基本目標 3

児童の健康に関する処遇の見直しを行い、感染症発症時の対応および、夜勤帯の緊急事態への対応についての強化を行う。

実施目標① 感染症への対応を強化し、発症時の対応や夜間の緊急通院等への対応強化に努力しました。

平成 27 年度本年度も季節性インフルエンザの予防接種は接種可能な 6 ヶ月以上の入所児童全員 (23 名) に実施しました。職員も 34 名 (常勤・非常勤全員) が接種しました。また、平成 23 年度より接種を推進している、ヒブワクチン (延 24 名接種) や小児肺炎球菌ワクチン (延 23 名接種) に加え、任意接種である生後 1 ヶ月半から 8 ヶ月迄に 3 回接種するロタウィルスワクチンを 3 名の乳児に接種させることができました。首都圏で流行が確認されている「麻疹」に対して有効とされている MR ワクチンや、ポリオや BCG、三種混合等の必要な予防接種を含めると年間延べ 167 件となりました。

感染症に関しては、9 月に RS ウイルス感染症に 7 名の乳幼児が感染しました。最年少の 11 ヶ月児は大事を取って 6 日間の入院をさせました。この結果、例年は乳児の多くに感染者がでますが、幼児のユニットが中心となる感染で封じ込めることができました。入院する児童は 5 名でした。入院率は年平均で 0.57% と例年より少し高めですが、平成 28 年 1 月に 17 日間入院した 1 名は、口蓋裂の上顎形成手術のための入院でしたので、この児童を抜くと 0.36% と平年並みの数値であると考えられます。これは感染症委員会のメンバーが年 7 回の委員会を開催し、定期的な対策の見直しや、徹底の方法を模索し、早期のマニュアルの書き換え等を心掛けてくれた事も要因の一つであり、「早期発見・早期治療」を日常的に心掛けている職員の努力や、協力の表れであると考えます。

[資料 2-(3) 参照]

1. 人工呼吸器「118 救急車を呼ぶ前に」の取り扱い講習会を実施しました。

実施目標② 看護師の欠員解消に努力しました。

年間を通じて看護師の求人情報をハローワークに出すと共に、求人情報誌を定期的に活用したことで、平成 27 年度中に常勤の看護師 1 名と非常勤の看護師 4 名を採用することができました。常勤職員の採用ができるように募集を継続しています。

実施目標③ 児童の隔離時の職員配置の増員を行い、看護・養育の対応強化に努めました。

非常勤保育士や、非常勤看護師の雇用を増やし、日中勤務する直接処遇職員の人数を増やすと共に、常勤職員の勤務を見直し人手が必要な早朝や、夕方の時間帯の勤務者確保を行い、隔離時には職員が 1 名配置できるように対応の強化を図りました。

実施目標④ 夜間の緊急一時保護や緊急通院への対応を考慮し、夜勤者に加え、宿直者の配置を検討します。

夜間の緊急時の対応について「宿直者」の配置を計画しておりましたが、入所児童の減少と、日中の非常勤保育士の確保で、夜勤ができる常勤保育士の人数が増えておらず、勤務態勢が構築できず、実施することができませんでしたので、今後も継続して検討していきます。

実施目標⑤ 緊急一時保護児童の受け入れについて、被虐待児の入所児健診の徹底と感染症潜伏期間の可能性考慮した対応を心掛ける。

被虐待児等の緊急一時保護時の健康診断の受診は、各児童相談所に協力を求めることで徹底することができましたが、病院からの受け入れであったため、感染症の潜伏期間の可能性を考慮した初期の対応が不十分で、RS ウイルスの園内感染がありましたので、更なる対応の強化を図りたいと思います。

資料1 平成27年度入所実績表・入退所理由別表

(1)平成27年度入所実績表

暫定定員 24名

区分		実人員				初日 充足率	一時保護	途中入退所			総計	定員30名 充足率	暫定24名 充足率
月別	性別	男子	女子	計	初日 在籍 延べ数	%	延人数	延人数	内訳			%	%
									男子	女子			
平成27年	4月	8	11	19	570	1	30	0	0	0	600	1	1
	5月	8	11	19	589	1	19	9	9	0	617	1	1
	6月	8	11	19	570	1	49	-17	-16	-1	602	1	1
	7月	8	10	18	558	1	39	29	0	29	626	1	1
	8月	8	11	19	589	1	39	18	18	0	646	1	1
	9月	9	11	20	600	1	56	-1	0	-1	655	1	1
	10月	10	11	21	651	1	58	-3	23	-26	706	1	1
	11月	11	10	21	630	1	28	42	42	0	700	1	1
	12月	13	10	23	713	1	31	0	0	0	744	1	1
平成28年	1月	13	10	23	713	1	31	0	0	0	744	1	1
	2月	13	9	22	638	1	73	0	0	0	711	1	1
	3月	14	9	23	713	1	107	-53	-20	-33	767	1	1
計		123	124	247	7,534		560	24	56	-32	8,118	1	1

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

暫定定員算式

(総計 - 一時保護延べ人数 = 入所児童のみ)

(8,118 - 560 = 7,558)

入所児童のみ $7,558 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 (90\%) = 23.0$

一時保護含む $8,118 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 (90\%) = 24.7$

※ 計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものである。(2 (2))

(2) 平成27年度 入退所理由別表

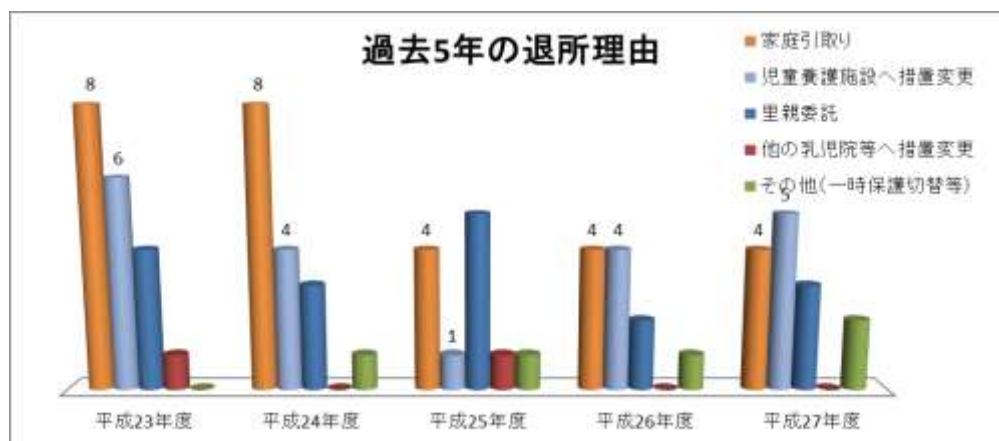
入 所 理 由	人数	退 所 理 由	人数
1. 養育困難	9	1. 家庭引取	4
(1) 保護者の疾病・入院	(3)	2. 里親委託	3
(2) 未婚の母・婚外子	(1)	3. 他施設に措置変更	7
(3) 両親離婚	()	内訳	
(4) 母の家出	(1)	(1) 児童養護施設	(5)
(5) 保護者の養育能力欠如	(2)	(2) ファミリーホーム	(1)
(6) 保護者拘禁	(1)	(3) その他の施設	(1)
(7) 経済的困窮	(1)		
2. 虐 待	0	4. その他	1
		強制送還	
3. 遺 棄	0		
合 計	9	合 計	14
4. 一時保護		一時保護 解除(退所)	
(措置入所への切替7名含)	18	(家庭引取9名)	10

*注1. 表中(1)～(2)の人数は入所・退所理由の細目内訳です。*注2. 入所理由は新規入所の人数

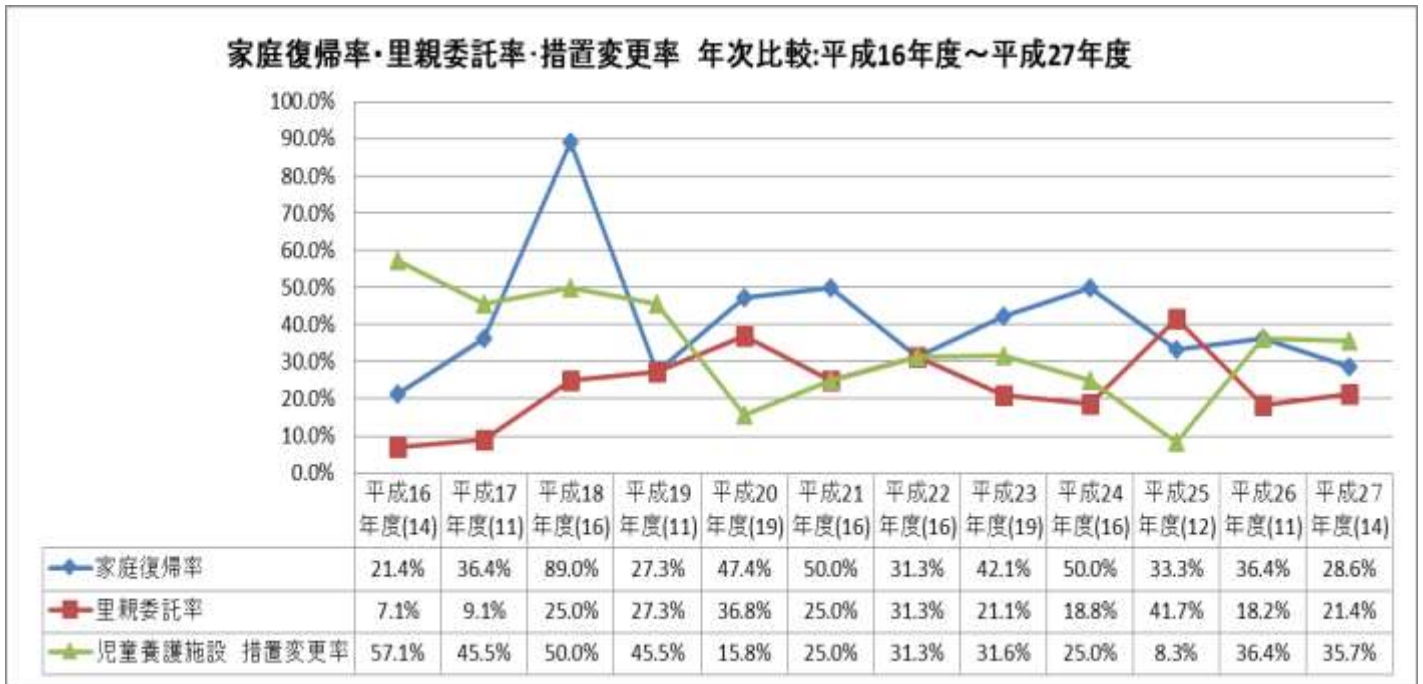
(2)－① 利用形態の年次比較



(2)－② 退所理由年次比較



(2)－③ 家庭復帰率・里親委託率・児童養護施設への措置変更率の年次比較



(3) 平成26年度子育て短期支援事業（ショートステイ）利用状況

	富 士 市	
年 齢	利用人数	利用日数
2歳未満	9人	46日
2歳以上	0人	0日
合 計	9人	46日
母 親	1人	2日

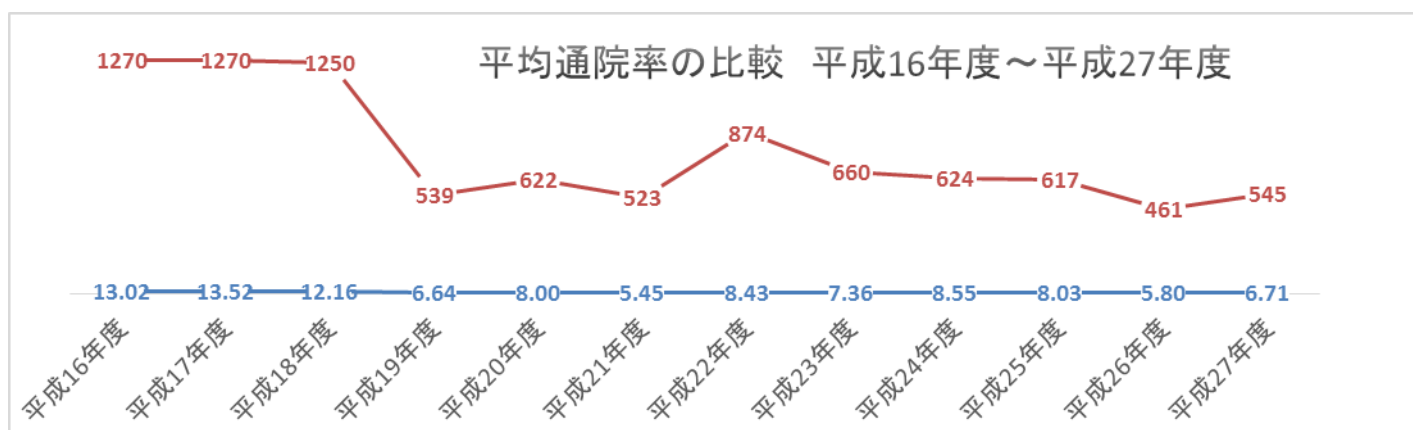
資料2 平成27年度疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録 総受診数 811件

(1)-① 平成27年度月別通院児童数 (年間545件)

通院数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いいずみファミリークリニック	8	11	9	10	11	25	44	32	16	24	10	14	214
小川内科小児科医院				2	2								4
かみで耳鼻咽喉科	21	9	5	4	8	12	23	19	35	19	16	38	209
月岡医院	4	3	3										10
前田整形外科													0
小森眼科クリニック						1	1	1	1	2			6
海野皮膚科						4	3	3	4		3	1	18
とみ皮膚科				4	1	1	2					4	12
片岡歯科医院	2			3							6		11
島田病院		1											1
富士宮市立病院(小児科)				2									2
富士聖隷病院										1			1
富士市立中央病院													0
(脳神経外科)													0
(整形外科)													0
(小児科)	2			1	3	5	2	1	1	1	1	1	18
(形成外科)		1			1					3	1		6
(耳鼻科)													0
(救急外来)						1							1
県立こども病院													
(神経内科)	1		1	1				1				1	5
(形成外科)	1												1
(脳神経外科)	2				1			1					4
(発達小児科・リハビリ)		1			1			1					3
(耳鼻科)	1												1
(神経科)		1											1
(眼科)	1						1				1		3
(歯科)	1										1		2
富士市立救急医療センター				1	2	1							4
富士市立こども療育センター	1	1	1				1		1		3		8
通院数合計①	45	28	19	28	30	50	77	59	58	49	43	59	545

(1)-② 過去12年間の通院率比較 (年間平均値の比較)



通院率比較：平成16年度～平成27年度														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755	名
通院数(1,270名)	67	101	87	62	134	161	173	141	82	98	96	68	1,270	名
通院率：通院数/延べ人数	9.41	13.32	10.93	7.13	14.08	18.46	20.52	17.41	9.80	11.71	12.70	9.54	13.02	%
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,393	名
通院数(1,270名)	78	89	69	45	59	127	128	136	126	81	180	152	1,270	名
通院率：通院数/延べ人数	13.66	14.45	10.95	6.97	8.51	15.64	14.32	15.91	14.77	8.72	19.85	15.40	13.52	%
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,283	名
通院数(1,250名)	99	157	93	191	93	96	98	140	124	40	56	63	1,250	名
通院率：通院数/延べ人数	11.07	18.47	10.41	22.03	10.93	11.75	11.09	16.09	14.29	4.61	7.22	7.46	12.16	%
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143	名
通院数(541名)	46	56	82	80	55	32	44	19	49	17	32	29	541	名
通院率：通院数/延べ人数	8.04	8.78	12.97	12.21	8.76	5.18	6.36	2.75	6.57	2.18	4.43	3.77	6.64	%
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771	名
通院数(622名)	31	31	75	59	15	20	94	70	89	60	35	43	622	名
通院率：通院数/延べ人数	4.37	4.51	11.90	9.58	3.02	4.31	16.97	10.65	12.16	7.98	5.38	5.23	8.00	%
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596	名
通院数(523名)	83	34	38	38	45	29	44	24	27	27	24	110	523	名
通院率：通院数/延べ人数	11.77	4.92	5.41	4.85	5.43	3.36	4.73	2.81	3.16	3.31	3.10	13.87	5.45	%
平成22年度(10,371名)	730	803	823	934	907	902	892	869	914	920	812	867	10,373	名
通院数(874名)	24	72	44	60	96	65	69	94	79	59	135	77	874	名
通院率：通院数/延べ人数	3.29	8.97	5.35	6.42	10.58	7.21	7.74	10.82	8.64	6.41	16.63	8.88	8.43	%
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971	名
通院数(660名)	66	63	69	79	77	61	56	51	52	26	25	35	660	名
通院率：通院数/延べ人数	8.45	7.83	9.32	9.59	9.55	8.17	7.85	7.39	7.16	3.54	3.60	4.92	7.36	%
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298	名
通院数(624名)	33	38	28	54	39	31	71	44	74	42	59	111	624	名
通院率：通院数/延べ人数	7.38	7.98	6.22	10.23	6.81	5.43	11.13	6.44	9.89	6.00	8.27	14.40	8.55	%
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688	名
通院数(617名)	60	50	59	43	31	47	71	41	62	43	50	60	617	名
通院率：通院数/延べ人数	9.98	8.96	10.87	6.76	4.96	7.05	9.67	5.94	8.84	6.35	8.32	9.16	8.03	%
平成26年度(名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954	名
通院数(461)	52	66	47	33	11	42	52	55	33	16	19	35	461	名
通院率：通院数/延べ人数	8.37	9.55	7.40	5.15	1.86	6.14	7.51	8.02	4.67	2.35	3.00	5.07	5.80	%
平成27年度(名)	600	617	602	626	646	655	706	700	744	744	711	767	8,118	名
通院数(545)	45	28	19	28	30	50	77	59	58	49	43	59	545	名
通院率：通院数/延べ人数	7.50	4.54	3.16	4.47	4.64	7.63	10.91	8.43	7.80	6.59	6.05	7.69	6.71	%

(2) 平成27年度 月別健康診断受診数 (年間99件)

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生後1週間健診													0
1-2ヶ月健診				2					2				4
3-4ヶ月健診							2					2	4
6-10ヶ月健診	1	1		2							1		5
1歳-1歳半健診						1	1	1			1	2	6
3歳児健診				1								1	2
定期健診・歯科健診					19						45		64
入所時健診													0
退所時健診(嘱託医)					1	2				2	3	6	14
健康診断合計②	1	1	0	5	20	3	3	1	2	2	50	11	99

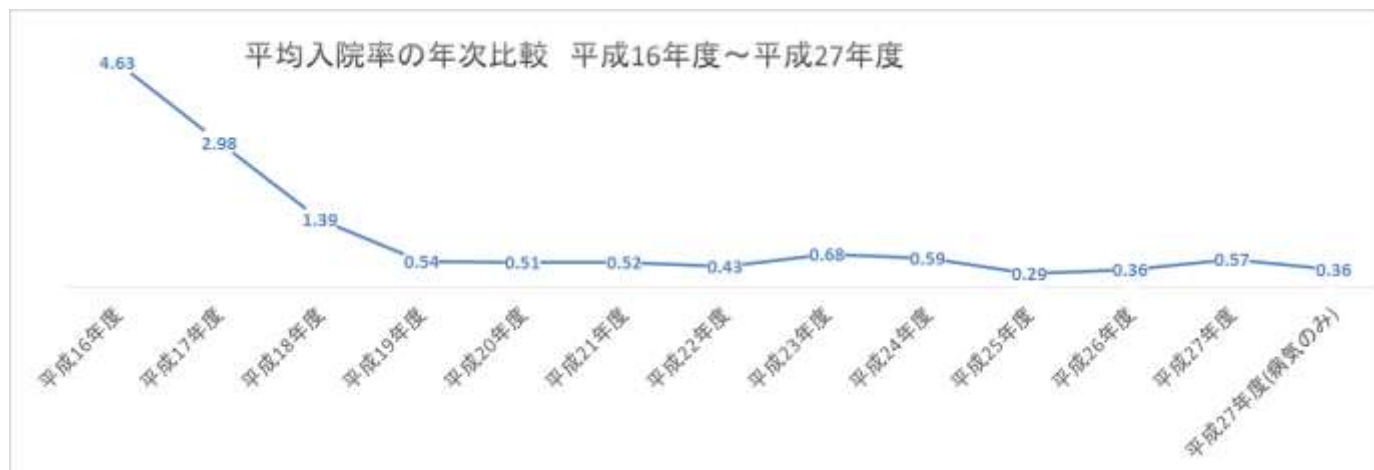
(3) 平成27年度 月別予防接種実施児童数 (年間167件)

予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
K-2シロップ													0
ポリオ													0
MRワクチン			1		1			1	2	2		1	8
BCG										2			2
日本脳炎				1	5			2	2	2			12
三種混合1～3回+追加													0
四種混合1～3回	4	1	1	1	1		4	4	3	4	1	5	29
インフルエンザ							18	15	3	2			38
シナジス(RSウイルス)													0
ヒブワクチン	2	1		1	4		4	5	3	2		2	24
小児肺炎球菌ワクチン	2	1		1	4		4	5	3	1		2	23
ロタウイルス	1	1					2	1		1		1	7
水痘	5	6		1	1			2	4	3		2	24
その他													0
予防接種合計③	14	10	2	5	16	0	32	35	20	19	1	13	167
通院等総計 ①+②+③	60	39	21	38	66	53	112	95	80	70	94	83	811

(4) 平成27年度 入院児童について (対象児 5名・入院日数 延46日)

1. SA (女) 入院 2015 年 7 月 19 日 ～ 退院 7 月 27 日 (富士宮市立病院)
病名: ウイルス感染の風邪 9 日
2. M.Y (女) 入院 2015 年 8 月 16 日 ～ 退院 8 月 20 日 (富士市立中央病院)
病名: 尿路感染 6 日
3. M.Y (女) 入院 2015 年 9 月 7 日 ～ 退院 9 月 14 日 (富士市立中央病院)
病名: 尿路感染 8 日
4. S.Y (男) 入院 2015 年 9 月 13 日 ～ 退院 9 月 18 日 (富士市立中央病院)
病名: RS 感染による気管支炎 6 日
5. I.Y (男) 入院 2016 年 1 月 5 日 ～ 退院 1 月 22 日 (静岡県立こども病院)
病名: 口唇口蓋裂上顎形成手術 17 日

(4)-① 過去12年間の入院率比較



(2) 定期健康診断

①入所児童定期健康診断

内科検診（年2回）：嘱託医：飯泉哲哉医師

実施日：1回目：平成27年8月11日・2回目：平成28年2月10日

歯科検診（年1回）：片岡歯科医院：片岡俊夫医師

実施日：平成28年2月2日

① 職員定期健康診断（新富士病院）

1回目：平成27年9月2日・9月8日・9月18日

2回目：平成28年2月3日・2月5日・2月9日

(3) 感染症の記録

①RS ウイルス感染症

感染者数：7名（児童7名・年齢：11ヶ月～1歳7ヵ月）

感染確認：平成27年9月3日～平成27年9月17日

感染した最年少の7ヵ月児を6日間入院させる。

拡大感染防止対策施工期間

平成27年9月3日～平成27年10月20日（一部解除）

※最終解除：平成28年3月31日

（市内にノロウイルス感染症やインフルエンザ等が流行したため）

②感染性胃腸炎の疑い

感染者数：1名（児童1名・年齢：1歳4ヵ月）

隔離期間：平成28年1月18日～1月22日（5日間）

※検査の結果ウイルスが検出されず風邪と診断され隔離解除

拡大感染防止対策施工期間 平成28年3月31日

②インフルエンザB型

感染者数：3名（職員3名 年齢：25歳～42歳）

出勤停止期間：平成28年2月9日～3月16日の期間中

診断後～解熱後72時間（5日～7日間）出勤停止とする。

拡大感染防止対策施工期間（園内） 平成28年3月31日

(4) 事故記録等

①事故の記録 総事故数 17件 (対象児童17名) 通院児童 0名

(内訳)

- (1)はさみこみ 2件 通院 0件 (プレイルームの扉を自分で閉める等)
- (2)衝突・転倒・転落 8件 通院 0件 (ベッド内転倒、椅子や机に躓く等)
- (3)誤食 4件 通院 0件 (離乳食を間違える、形状が異なっている)
- (4)誤投薬 0件 医師相談0件
- (5)不投薬 1件 医師相談0件 (配薬忘れ)
- (6)その他 2件 通院 0件 (部分浴を全身浴させる、尻洗い温度未確認)

② 児童間の事故 噛みつき報告 総報告数 23件

③ インシデントレポート (ヒヤリハット) 総数 8件

インシデントレポートの要約

No.	年月日	発生場所	発生時間	インシデントの内容	対応	備考
1	平成27年4月8日	1階廊下 プレイルーム 付近	10:00頃	養育でマットをプレイルームで使用中、マットの保管時に使用する柵はチェーンで固定し、子どもの手の触れないところに保管すべきなのに、チェーンで固定もせずに廊下に放置されていた。排泄で外に出た子が触ろうとしていた。	設備使用時のルールを守ること、子どもに危険が及ばないように考えて設置や片付けを徹底させる。	
2	平成27年6月12日	1階廊下	10:15頃	廊下で0歳児の養育中にAさんが針の刺してある布を持っていた。針を外したリ口に入れている様子は無かった。即回収。	養育現場での裁縫の禁止、危険物の持ち込み禁止を徹底する。会議や連絡会で説明して危機意識の強化を図る。	
3	平成27年7月6日	応接室	8:50頃	応接室にビスが落ちていた。掃除のシルバー人材センターからの派遣職員が見つけて報告してくれる。	ビスが緩んでいないか常に器を使うようにする。月例会や連絡会で徹底指導する。	
4	平成27年7月6日	2階 プレイルーム	8:50頃	2階プレイルームのマットの上に、広げられたホッチキスの針が落ちていた。掃除のシルバー人材センターの派遣職員が見つけて報告してくれる。	ホッチキスの針は広げられていたため、誰かが広げた物と考えられるので、外した時には数を数え確認しながら処分を行うように、月例会や連絡会で徹底指導する。	
5	平成27年7月30日	1階廊下	9:20頃	おやつが終わり食堂から出たB君が食事運搬用の台車を勢いよく押して遊んでいる。近くにいたCさんにぶつかりそうになる。	職員が子どもの把握を怠っている。食堂に残る職員と、プレイルームへ誘導する職員の連携をしっかりと行うように指導する。台車の固定をする。	
6	平成27年8月1日	おむつ 交換室	16:00頃	おむつ交換中の子どもの玩具代わりにビニール袋を職員が手渡す。子どもはビニールを口に入れ食べ始める。課長が気付き止めさせるが、口の中からビニールの切れ端が出てくる。	窒息の危険性があるビニール袋は子どもに持たせないことを徹底させる。安全玩具の使用を考えていく。	
7	平成27年8月10日	ミッキー居室	16:15頃	ベッドの柵に握まり立ち押して、テレビを見ていた村田愛菜さんが虫除けペーパーのコードを引っ張り、器具をベッド内に落としていた。	コードを首に巻いたり、火傷や、火災の危険性がある。虫除け蚊取り器の設置場所の変更と、職員への徹底指導を行う。	
8	平成28年1月11日	芝生園庭	10:00頃	外遊び中の子どもが土を口に入れて吐き出したようである。口の周りと手に泥が付着し、ジャンパーには嘔吐の後があった。	子どもは何でも口に入れることを徹底的に職員の頭に叩き込み、監視を怠らないように指導をする。	

資料3 平成27年度 園外保育実施実績

平成27年度は、前年度できなかった養育者と1対1での宿泊による園外保育を実施しました。マイクロバスを借りて、1日目は「まかいの牧場」で遊び、休暇村富士のコテージに泊まり2日目は「ぐりんぱ」に行ってウルトラマンやシルベニアファミリーに会ってきました。この他にも小グループでの外出を企画して、担当養育者等と1対1で楽しいひとときを満喫することができました。

園内の生活でも養育担当者と個別に接する機会や、小グループによる行動を奨励し、園庭の芝生や、近隣への散歩等を通して社会性の発達を促進する努力を行いました。

(1)園外保育の実施状況

園外保育（小規模グループ）

- ① 平成27年10月10日 : 原田幼稚園運動会（富士市）
- ② 平成27年10月18日 : 富士市福祉まつり
- ③ 平成28年 2月26日 : イオンモール富士宮
- ④ 平成28年 3月4日 : 日本平動物園（静岡市）
- ⑤ 平成28年 3月9日 : アピタ（富士市）
- ⑥ 平成28年 3月15日 : イオンモール富士宮

宿泊保育（幼児）

- ① 平成27年10月7日～10月8日 : まかいの牧場・休暇村富士（富士宮市）
ぐりんぱ（富士市）



まかいの牧場（2015.10.7）



ぐりんぱ（2015.10.8）

(2) 誕生会・お楽しみ会

- ①誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対1でお祝いをしました。
- ② お楽しみ会(月1回)…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。
- ③ 七五三…記念に、美影館さんのご好意で記念撮影をしていただいています。

法人夏祭り：平成27年8月22日



ハロウィン：平成27年10月30日



クリスマス：平成27年12月22日



みぎわ園の皆さんと一緒にクリスマス



リトミック



ひな祭り・七段飾り



資料4 平成27年度 お楽しみ会行事献立及び、年間給食数（単位：人）

			年間延人員、各月給食数	
月	日	行事食献立	延在籍児数	延食数
4	3	筍ごはんおにぎり、から揚げ、枝豆とツナのポテトサラダ、ミニトマト、いちご、麦茶	600	1,841
5	11	バイキング：おにぎり（塩・ゆかり）、から揚げ、フライドポテト、トマト、野菜スティック、こいのぼりウインナー、フルーツ（バナナ・オレンジ）麦茶、玉子スープ	617	1,835
6	4	かたつむり海苔巻、ハンバーグ（車のかたち）、野菜スティック、野菜ジュース、あじさいゼリー	602	1,738
7	7	七夕そうめん、星型ポテト、ミートボール、野菜ジュース、フルーツポンチ	626	1,834
8	10	バイキング：焼きそば、たこ焼き、フライドポテト、焼きとうもろこし、野菜ジュース、かき氷/バナナ	646	1,894
9	7	お弁当：サッカーボールおにぎり、から揚げ、たこさんウインナー、玉子焼き、キャンディーチーズ、ジュース、ブロッコリー・トマト	655	1,913
10		園外保育	706	2,071
11	9	お子様ランチ：ふりかけごはん、グラタン、きゅうりとチーズのサラダ、タコさんウインナー、野菜スープ、柿	700	2,052
12	22	ツリー型いちごジャムパン、鶏肉（チューリップ揚げ）、フライドポテト、コーンスープ、プリンアラモード	744	2,195
1	7	そうめん（ほうれん草・星型にんじん）、アンパンマンポテト、アンパンマンミートローフ、野菜スティック、アンパンマンキャラクターのフルーツヨーグルト	744	2,108
2	4	一口サンドイッチ、大豆とジャコの甘煮、野菜スティック、卵スープ、練乳いちご	711	2,082
3		園外保育	767	2,295
			8,118	23,858

資料5 平成27年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練（夜間想定訓練 2回）

※消火訓練は毎月実施した。

	実 施 日	開始時間	参 加 人 員	備 考
1	平成 27 年 5 月 13 日（水）	9:02～	児童 18 名・職員 2 名+7 名(ワブザーバー)	夜間想定
2	平成 26 年 7 月 8 日（水）	9:45～	児童 19 名・職員 13 名	
3	平成 28 年 1 月 13 日（木）	9:41～	児童 18 名・職員 2 名+7 名(ワブザーバー)	夜間想定
4	平成 28 年 2 月 10 日（水）	9:30～	児童 20 名・職員 8 名	

(2)火災想定避難訓練（夜間想定訓練 1回）※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実 施 日	開始時間	参 加 人 員	備 考
1	平成 27 年 4 月 8 日（水）	9:00～	児童 18 名・職員 12 名	通報訓練
2	平成 27 年 6 月 9 日（火）	9:45～	児童 16 名・職員 13 名	通報訓練
3	平成 27 年 8 月 12 日（水）	9:45～	児童 16 名・職員 12 名	通報訓練
4	平成 27 年 10 月 14 日（火）	9:15～	児童 19 名・職員 12 名	通報訓練
5	平成 27 年 12 月 9 日（火）	9:15～	児童 18 名・職員 13 名	通報訓練
6	平成 28 年 3 月 9 日（水）	9:45～	児童 18 名・職員 2 名+7 名(ワブザーバー)	夜間+通報

(3)総合防災訓練（訓練回数2回）

	実 施 日	実施時間	内 容 ・ 参加人員等	備 考
1	平成 27 年 9 月 1 日（火）	9:30～ 11:45	児童 21 名・職員 18 名 避難訓練・消火訓練・災害対応訓練	※富士地区 総合防災訓練
2	平成 27 年 11 月 2(月)	9:00～ 12:30	児童 12 名・職員 16 名 避難訓練・消火訓練・設営・炊出し等	

(4)通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練（実施回数1回・法人13回）

	実 施 日	実施時間	参加人員・訓練内容等	備 考
1	平成 27 年 11 月 1 日(日)	9:40～	みどり園職員を対象とした通報訓練	安否コール
2	平成 27 年 4/1・5/7・5/30・7/2 8/3・8/21・9/1・10/1・11/2 ・12/1 平成 28 年 1/5・2/1・3/1	夜間は 2 回 5/7 ・ 10/1 実施	災害安否コールシステムを使用した通報 ・安否確認訓練（全職員）	※法人 全職員対象

(5)防災用備品の点検・整備等 (実施回数1回)

	実 施 日	実施時間	内 容	備 考
1	平成 27 年 11 月 2 日(月)	13:00～	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	

総合防災訓練時の避難訓練と炊き出し訓練：平成 27 年 11 月 2 日



総合防災訓練時の非常用発電機の始動訓練と消火訓練：平成 27 年 11 月 2 日



資料6 平成26年度保守点検実施表

点検項目	業 者 名	点検年月日	備 考
電気工作物	関東電気保安協会	H27. 4. 16	年 6 回
		H27. 6. 1	
		H27. 8. 25	
		H27. 10. 22	
		H27. 12. 14	
		H28. 2. 19	
消防設備	サンコー防災 (消防用設備点検)	H27. 5. 26	年 2 回
		H27. 11. 27	
	富士消防用品商会 (消火器点検)	H27. 5. 12	年 2 回
		H27. 11. 26	
給水給湯設備 空調設備機械等	協栄空調株式会社	H27. 6. 5	年 2 回
		H27. 11. 6	
園舎 殺菌消毒	(株)大富士ダースキンターミック	H27. 6. 15	年 2 回
		H27. 11. 6	
防鼠点検 厨房・食堂	(株)大富士ダースキンターミック	H27. 4. 24	毎月
		H27. 5. 18	
		H27. 6. 26	
		H27. 7. 24	
		H27. 8. 28	
		H27. 9. 25	
		H27. 10. 23	
		H27. 11. 4	
		H27. 12. 25	
		H28. 1. 29	
		H28. 2. 26	
		H28. 3. 25	
園舎ゴキブリ殺虫施工	(株)大富士ダースキンターミック	H27. 5. 18	年 2 回
		H27. 11. 4	

点検項目	業 者 名	点検年月日	備 考
電解水生成システム	(株)アオノ テックコーポレーション	4/13. 5/6. 6/18. 7/1	毎月
		8/11. 9/9. 10/13. 11/4	
		12/1. 1/15. 2/1. 3/1	
布団乾燥機	Mana mana	H27. 7. 16	年 2 回
		H28. 1. 15	
貯水槽清掃	ニッケン消毒(株)	H28. 3. 19	年 1 回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	H27. 11. 17	年 1 回
昇降機リフト	大村リフトサービス	H28. 1. 18	年 1 回
建築設備等定期検査	王子不動産(株)	H27. 10. 29	年 1 回
タッチ式自動ドア	ナブコシステム(株)	必要に応じて	
事務機器	(株)Net		
	(株)ティーケーシステム		

資料7 平成27年度 研修会、会議等参加実績

外部研修会参加人数 49 名(開催 32 回)：法人内研修会等参加人数 96 名(開催 14 回)

(1) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会等の県外研修会

参加人数 17 名(10回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成 27 年 6 月 10 日～11 日	第 50 回関東ブロック乳児院研究協議会	静岡市：日本平ホテル	5 名
7 月 15 日～17 日	第 59 回全国乳児院研修会	岩手県：盛岡グランド ホテル	2 名
10 月 1 日～2 日	第 65 回全国乳児院協議会	新潟県：ANA クラウン プラザ ホテル新潟	1 名
11 月 12 日～13 日	第 34 回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	茨城県：ホテルイクスピア水戸	3 名
11 月 10 日	管理者向けメンタルヘルス講習会	愛知県：ウインク愛知	1 名
11 月 15 日	13th こどもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	東京都：ニッショーホール	1 名
11 月 25 日～27 日	第 4 回乳児院上級職員セミナー	東京都：全社協	1 名
11 月 18 日	社会福祉法人制度見直しを活かすために	東京都：全社協	1 名
12 月 13 日	治癒的遊びのワークショップ	東京：南青山ウェーレスセンター	1 名
平成 28 年 2 月 2 日～5 日	子どもの虹情報研修センター 乳児院職員指導者研修会	横浜市：子どもの虹 情報研修センター	1 名

(2) 静岡県乳児院協議会・東京都社会福祉協議会乳児部会等の業界研修会
業界研修会等 参加人数 16名 (10回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成 27 年 4 月 15 日	静岡県乳児院協議会 家庭支援・個別対応職員研修会	みどり園	2 名
5 月 8 日	東京都社会福祉協議会乳児部会新任研修会	東京都：飯田橋セントラルプラザ [※]	1 名
5 月 20 日	静岡県乳児院協議会栄養調理研修会	静岡恵明学園	2 名
9 月 16 日	静岡県乳児院協議会 看護研修会	静岡乳児院	2 名
10 月 21 日	静岡県乳児院協議会 養育研修会	浜松乳児院	2 名
11 月 10 日	東京都社会福祉協議会乳児部会栄養研究会	東京都：飯田橋セントラルプラザ [※]	1 名
11 月 14 日	児童虐待防止静岡のつどい	もくせい会館	3 名
平成 28 年 1 月 20 日	県乳協 家庭支援専門相談員研修会	浜松乳児院	1 名
2 月 17 日	静岡県乳児院協議会 事務研修会	静岡恵明学園	1 名
	静岡県乳児院協議会 代表者会議	浜松乳児院	1 名

(3) 静岡県社会福祉協議会等の県内研修会
研修会 参加人数 16名 (12回)

年 月 日	研 修 会 テーマ等	場 所	参加人数
平成 27 年 4 月 15 日	静岡県社会福祉協議会・経営者協議会主催 社会福祉法人監事監査研修会	グランシップ	1 名
6 月 9 日	平成 27 年度県指保の会新任職員研修会	静岡県総合福祉会館	2 名
6 月 9 日	給食協会富士支部 衛生栄養管理講習会	ラ・ホール富士	1 名
6 月 13 日	社会福祉施設職員等防災研修会	県地震防災センター	1 名
6 月 23 日～24 日	県社協主催 平成 27 年度新任研修会	静岡県総合福祉会館	2 名
7 月 3 日	富士市防火協会 総会・記念講演	ロゼシアター	1 名
7 月 13 日～14 日	県社協主催 経理事務応用講座	静岡県総合福祉会館	1 名
8 月 5 日	静岡県福祉施設士会合同研修会	ホテルセンチュリー静岡	2 名
11 月 17 日	福祉職場の困った事例に学ぶ リーダーの役割と人材育成の心得	静岡県総合福祉会館	2 名
平成 28 年 1 月 23 日	県社協主催 予算管理・決算事務講座	静岡県総合福祉会館	1 名
2 月 2 日	マイナンバー実務基礎講座	静岡県総合福祉会館	1 名
3 月 2 日	静岡県福祉施設士会合同研修会 ストレスチェック制度の概要と職場のメンタルヘルス	ホテルセンチュリー静岡	1 名

(5)法人内研修会・園独自研修会等

① 法人研修会等 14名 (4回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成 27 年 4 月 8 日	法人 新規採用職員研修会	みぎわ園地域交流室	5 名
10 月 23 日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3 名
11 月 10 日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3 名
12 月 9 日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3 名

② みどり園独自研修会等 82名 (10回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成 27 年 4 月 1 日	新任職員研修会 「乳児院について」	会議室	4 名
7 月 10 日	ビジネスアサーション研修会①	会議室	9 名
7 月 24 日	ビジネスアサーション研修会②	会議室	9 名
8 月 3 日	みどり園 118 救急救命講習会	会議室	6 名
9 月 1 日	新任職員研修会「防災/避難体制」	園 庭	6 名
9 月 4 日	ビジネスアサーション研修会③	会議室	9 名
9 月 18 日	ビジネスアサーション研修会④	会議室	9 名
10 月 11 日	山崎知克医師ビデオカンファレンス	会議室	12 名
平成 27 年 1 月 24 日	愛着形成プログラムによる子育て支援事業 アタッチメント理論とその活用について	ロゼシアター 第 1 会議室	9 名
1 月 27 日	愛着形成プログラムによる子育て支援事業 わらべ歌・子守唄を使って親子のスキンシップ	ロゼシアター 第 1 会議室	9 名

資料 8 平成27年度 実習生受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (7校 12名 延べ 152日)

学 校 名	人 員	指定日数	実 習 期 間	延日数
静岡県立大学短期大学部	2 名	13 日	6 月 1 日 ～ 6 月 13 日	26 日
静岡福祉大学	1 名	13 日	7 月 1 日 ～ 7 月 13 日	13 日
静岡福祉大学	1 名	11 日	8 月 8 日 ～ 8 月 18 日	22 日
常葉大学富士キャンパス	2 名	12 日	8 月 20 日 ～ 8 月 31 日	24 日
淑徳大学	2 名	13 日	9 月 1 日 ～ 9 月 13 日	26 日
浜松学院大学	2 名	14 日	9 月 14 日 ～ 9 月 27 日	28 日
常葉短期大学	2 名	12 日	11 月 25 日 ～ 12 月 5 日	24 日
合 計	12 名			152 日

(2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導	年間延べ	210 件 (外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等	年間延べ	27 件
3. 里親研修		3 件
4. 教員体験実習		0 件

資料 9 ボランティア受け入れ実績

(1) ボランティア受け入れ実績 総数 46名 (3団体+個人8名)

1. 子ども虐待防止センター・しずおか	1 回	2 名
2. 吉原第二中学校ボランティア	8 回	30 名
3. 大学生ボランティア	5 回	7 名
4. その他のボランティア	7 回	7 名

資料 10 家庭支援事業について

(1) 入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所（処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る）、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

個別に対応した件数 498 件

(内訳)

保護者・里親の面会等個別対応	: 143 件
医療・療育機関と調整	: 52 件
他施設への移行準備、施設訪問等	: 70 件
児童相談所・関係機関との調整	: 233 件

(2) 退所後の支援

退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

個別に対応した件数 15 件

(内訳)

保護者・里親の電話相談・病院付添等	: 3 件
児童相談所等への連絡調整	: 12 件

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）について

富士市と沼津市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由によって養育できない児童を一時的に預かる事業を実施しました。

依頼があった時に、受け入れや引き取りについて連絡調整や直接接遇を行いました。

連絡調整及び相談件数 50件

※ショートステイ受け入れ件数 富士市：10名 （乳幼児9名）
延日数：48日 （母親1名2日を含む）

(4) 里親への対応 27件

（内訳）

委託前引継ぎ・相談 ： 27件

病院への引き継ぎ等 ： 0件

(5) 電話による育児相談 13件（赤ちゃん110番等）

赤ちゃん110番等、一般家庭からの電話による育児相談に対応しました。

（内訳） 育児に関する相談 ： 5件 （授乳・夜泣き等）
 疾病に関する相談 ： 8件 （子どもの疾病を疑う相談等）
 その他の相談 ： 0件 （一般からの入所相談等）

資料１１ 平成２７年度 施設整備、改修・修繕工事等報告

(１) 施設整備取替・補修等工事(1 万円以上)

実 施 内 容	金 額
1 階食堂照明取替修繕	113,400
2 階小規模電源コンセント修繕	41,040
2 階換気扇取替修繕	42,120
オムツ交換室自動ドア修繕	45,360
緊急用発電機修繕	14,472
1 階子どもトイレ照明取替修繕	29,160
2 階居室・ボイラー室等サッシ・ドア取替修繕	752,760
リヤカー修繕	16,200
非常照明機器修繕	119,880
1 階子どもトイレ自動ドア修繕	259,200
園庭遊具修繕	232,956
汚物流し取替修繕	226,800
2 階トイレ換気扇改修	86,940
廊下裏口ガラス取替修繕	21,600
2 階トイレ照明取替修繕	46,440
乳児室安全柵取付	76,680
厨房西側出入口電源コンセント修繕	24,840
1 階食堂・プレイルーム換気扇取替修繕	172,800
ナースプール照明取替修繕	72,360

(2) 物品購入 (10万円未満)

購入物品	数量	設置及び使用場所 (使用者等)
電話機	1 台	事務所 (職員)
ロッカー	1 台	厨房西側出入口 (栄養士・調理員)
靴箱	1 台	厨房西側出入口 (栄養士・調理員)
デジカメ	2 個	献立撮影用、HP 掲載用 (職員)
壁掛け扇風機シーリングファン	6 基	居室用 (児童)、洗濯室 (シルバー)
CD ラジカセ	3 個	診察・観察室、小規模居室等 (児童)
加湿器	6 台	居室用 (児童)
遠赤外線ヒーター	4 台	居室用 (児童)
炊飯ジャー	1 個	調理室 (厨房職員)
ホットプレート	1 個	調理室 (厨房職員)
掃除機	2 台	居室他園内全域 (職員・シルバー)
ドライヤー	3 個	オムツ交換室・脱衣所 (児童)
電子レンジ	1 台	小規模キッチン (職員・児童)

(3) 固定資産報告 (10万円以上)

建物取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所 (使用者等)
キッチンリフォーム	2 か所	2 階小規模キッチン(児童・職員) 1 階北側流し(職員)

建物付属設備

内 容	数量	設置及び使用場所 (使用者等)
受変電装置(キュービクル)	1 式	みどり園舎北側(みどり園・ひまわり園 ・ひまわり幼稚園・ふようデイ・居宅等)

器具および備品

内 容	数量	設置及び使用場所 (使用者等)
手指消毒器	1 台	厨房西側出入口(栄養士・調理員)
空気清浄機	2 台	居室廊下

ソフトウェア取得

内 容	数量	設置及び使用場所 (使用者等)
マイナンバー収集管理ソフト	1 式	危機管理対策 (法人一括管理)

資料 1 2施設運営改善等

(1) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情 1 件

(概略・経過)

職員個人の夜勤中の業務に対する姿勢や業務内容について匿名の指導要望がありましたので、当該職員に事実確認を行い、改善指導を行うと共に始末書の提出を求めました。

また、全体会議の席で、経過報告を行うと共に、誤った業務内容を真似しないよう職員全体に注意喚起を行いました。

(2) 人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、平成 28 年度の職員の給与へ反映させました。

(3) 自己評価

平成 27 年度は毎月 1 回の開催を目標に、自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、平成 26 年度との比較や、中長期計画の進捗状況を確認・修正を行い、改善に向けて新たな中長期計画を作成しました。

自己評価委員会： 年 10 回実施

特別養護老人ホームみぎわ園

事業概要報告

H27 年度介護保険の改訂－2.27%は、全体の収支を通して特養、ショートステイの稼働の高率等により影響の出た在宅系介護部門（デイサービス部門）のマイナス改定を凌いだ結果で推移した内容でした。只、社会福祉法人の内部留保問題等は、結果社会福祉法の経過 65 年での改革がこの 4 月 1 日付けで改正され、地域での公益的取組の責務とする規定であり社会福祉サービスで社会還元することを義務付けた内容とガバナンス(組織統治)を強化する等、公益性の高い組織運営を期待されるとして法改正がなされました。又介護福祉人材確保については、育成、処遇の改善等を充実しこれらも改革にあてるとした事であります。人材育成については、昨年から始めた新人教育の一つとする 1 年間を通してプリセプター研修、入居者の重度化を看ての介護職サイドでの業務スキルアップとしての特定介護従事者 2 号研修、認知症実践者指導研修等、職員の介護技術と介護意識の向上に努めました。

変化著しい特に通所介護（デイサービス）部門の特色と特異性を持って過当競争が変化する通所介護サービス業界の時代性を鑑みて、この 1 年多職種協働でプロジェクト委員会を立上げ直接担当者と議論を重ねて、一つの方向と特色とする「サービスの柱」を見出し進める事としました。

昨年 2 月開所の看護小規模多機能型施設「みぎわの里」については、富士市 2 つ目の施設開所で、また県下でも始めたばかりでの施設内容でもあり思うような稼働が難しく、手さぐり運用の 1 年でした。地域性と担当者のスキル研修に労した 1 年でもありました。

又開所 1 年経過の中で、市行政の指導もあって第三者評価を受審する事となり、11 月より準備を進め、運営に未熟な所がある中での受審となり年明け 2 月から 3 月にかけて第三者の方々のご足労を戴き 47 項目の多岐に亘る審査を実施しました。内容も新たに国が提示した項目で、理解の難しさもある中今年度の準備を進めるとしました。

4 月から特養内 1 階南ユニット(20 床)の一部多床室を含む施設を「地域密着型小規模特養」として新たに認可を受け稼働をしています。国が整備を進める特養施設基準の一環で、以後は富士市が監理指導を行うとされました。施設基準の変更に伴う整備等を進める上での問題点を静岡県担当、富士市行政との協議を重ねて、従来の運営基準と大きく変更の伴わないとする形で結論を得て懸念した会計区分、人員配置、加算請求業務上の問題を解決して現在に至っています。

全体として、国の施策に振り回されながらも職員の努力と知恵を以て難局を凌ぎつつ進められた 1 年で、介護保険改定 2 年目に向かい下地を整えた年度でありました。



H27 年レク行事「居酒屋」風景



実 施 報 告

基本目標 1

1. 小規模特養ホームの適正運用と会計単位の増設

静岡県及び富士市行政担当者との協議の下で、従来建屋一体での管理運営がされており配置職員が適正に占有ができていれば多く問題はないとして、会計単位、看護基準、専門職種等の配置は従来通りとする確認と、行政監督指導の区分は別とする管理で進めています。

2. 富士市生きがいデイサービス及びいきいき介護予防教室の受託

富士市が進める地域介護予防支援事業の一つで、他の市町村に先駆けることもあり様々な実施上の問題、内容が見込まれる予想の下で新たに事業展開するには継続し検討を行うとして保留としました。

3. 通所介護部門の利用者ニーズに沿ったサービス内容の変更と実施

この1年通して多職種での改革プロジェクトを持って検討し、担当者として一つの介護サービスの方向性を組上げ実施の方向で進めています。

4. 特養部門マイナス改定による収支と経費削減人件費の見直し

概要報告に記載した通りであるが、人件費の見直し等についてはH28年度事業計画の下で検討事項として進める予定です。

5. 「みぎわの里」利用者登録の早期安定化と利用ニーズによる介護看護サービスの実践

開所間もない状況下で、担当職員のスキルと併せながらの事業実施で思うような業績に至らず、今後施設のPR、各医療機関との理解、協働を図りながら運営を進めています。

6. 感染防止対策の徹底と環境衛生管理の教育と啓発

この一月にショートステイ内での感性的胃腸炎疑いでの事態があったが、園全体で

の連携の下で防御態勢を整え、大きな影響もなく事なきを得ました。

7. 介護保険改定に伴う変更される居住費等、入居利用者ご家族への説明と合意

ご家族、身元引受人に向け変更事項の説明、質疑を以て同内容の合意も得られ、他ご家族との対話を通して有意義な説明会を実施しました。

8. 看取り介護看護による「こころ」ある終焉への対応と充実

介護、看護が「命」の尊厳をご家族との協働の下で、穏やかに落ち着いた環境の下で見送る事が出来、ご家族からの感謝の言葉を多く頂き、担当者の思いが通じたと感じています。

基本目標 2

1. 各種設備の更新と保守、空調設備の計画的修繕管理の実施

ふようデイサービスセンター内の空調システムの故障があり、急遽従来機器の全面改修の実施とみぎわ園屋上配備室外機への出入り用屋外階段を設置し、保守修繕の効率化を図りました。

空調設備費	4,031,000 円
外部階段設置費	2,300,000 円

2. 厨房設備の作業管理における設備、導線の改修

全体見直し改修は出来なかったが、食器乾燥機の入替更新を実施しました。

食器消毒保管庫	574,000 円
---------	-----------

3. 電話設備及びナースコールの更新と設備改修

後半期に来てナースコールの設備に不具合が生じ始め、手さぐりでの修繕行いつつ年明けよ2ヶ月を掛けて工事を実施し、設備更新が図られました。

ナースコール設備費	9,180,000 円
電話交換機設備費	4,125,000 円



ふようデイサービスセンター空調設備

4. 電算機（パソコン）業務システムの改編と保守管理の徹底

年度明け PC サーバーと個別 PC の入替を実施し業務危機管理を整備し安全性確保と施設内イントラネット化を図り、情報の効率化を図りました。

PC サーバー等整備費 313,000 円

器具備品費 3,434,000 円（H26 年度決算計上）



屋上進入路階段



PC サーバー設備



食器消毒保管庫

5. 地域交流室の一部、多床室の環境整備とプライベート化の改修

委託事業の保留と改修計画の検討未達成もあり、再検討事項として保留としました。

6. 居宅支援事業所の相談業務用軽車両の配備

中古軽車両の手配があり相談業務の迅速化が図られました。

車輛費 192,000 円



電話交換機及びナースコール設備



居宅相談用軽車両

部門：介護管理

実施報告

1. 新人職員及び中堅職員が、役割を通して自ら成長していける県社協主催を中心とした外部研修への参加、併せて施設内研修、伝達講習の更なる充実を図ります。

QOL 委員会を中心に職員の適正又希望を取り入れて実施し、各研修等の報告は伝達講習を通して行い、介護の資質向上と技術レベルの底上げを図る大切な場となりつつあります。伝達者にとっては分かりやすく伝えられるか、正確に伝えられるか等の情報伝達の難しさも学ぶ自己研鑽の場となり、意識改革と自信に繋がっています。

一人の経験が皆の知識に、皆で共有することが大きな収穫になりつつあります。
今季研修実施内容については『介護保険事業所関係資料 9』を参照。

2. プリセプターシップの定義と取組みを理解し、更なる指導体制を確立します。

新人担当連絡会でのプリセプターシップ(新人教育実践)研修を受講し、チームスタッフ全体で「人を育てる」とするシステムを、協力体制の重要性、メリットとデメリット等を含め理解し、職員全体に伝達講習を行いプリセプターシップを理解することができました。また新人研修の年間計画を作成する事ができました。今後も安定したプリセプターシップを確立していくために、試行錯誤を行いながら取り組んで行きたいと考えています。

3. 実習指導者（介護福祉士実務者研修受講者）を増やし更なる指導体制を整えます。

介護福祉士実務者研修を2名受講し、今後に向けて指導体制を整備することが求められます。

4. 可能な限りお年寄りのペースでサポートする個別ケアの意識付けを、職員一人ひとりに構築します。

QOL委員会・各連絡会において、個別ケアを意識し実践方向へと取入れて行く職員が増えてきていることは、とても嬉しいことです。職員一丸となつての取組みには至りませんが、ケア向上を目指して紙オムツの仕様の検討、布のパンツの導入など入居者、ご利用者と関わる時間を多くもてる体制づくりのために進めています。
又、8時間夜勤を目指してプロジェクトを立ち上げることができました。

5. 入所、長期入院による空所期間の短縮化を看護課と連携を図り、一層の稼働率アップを目指します。

多職種連携を実践し稼働率 99.3%達成ができました。また看取り、終末期の対応で入居者や家族の希望等確認できていない連携の弱さもありましたが、「最期の瞬間の大切さ」を作り上げる事などの実効性を職員一人ひとりが自覚し、強いては稼働率アップに繋げていくことを感じています。

部門：看護管理

実施報告

1. 医師及び他職種との連携を図り、ご家庭に適宜健康状態を報告することで情報を共有し、信頼関係を築いて行く。

入居者様の状態の変化を医師に正確に情報提供して、家族へも随時報告することで、信頼関係を築くことができました。また、他職種間で情報の共有を図ることで、より良いケアに繋げていくよう努めました。

2. 看取り看護において入居者様一人ひとりを尊重し、ご家族とのコミュニケーション

を大切にしながら、その人らしい終焉を迎えるよう努める。

ご家族とのコミュニケーションを大切に、介護職との連携を図りながら、入居者の状態に応じた看護と介護を心がけ、より穏やかにその人らしい終焉を迎えられるよう関わることができました。

3. 全職員が感染防止対策の周知徹底が出来るよう伝達講習会を実施する。

感染対策の伝達講習会は定期実施が定着し、感染疑いあるご利用者様に対する早期感染対策と職員の健康チェック、塩素消毒器の使用で防疫体制の強化に努めました。

4. QOL 委員会を通じて看護と介護の信頼、協働関係を築き、より良いケアに繋げていくことに努める。

QOL 委員会を通して褥瘡のある入居者の情報を介護職と共有し、早期治癒に向けての対策を検討し、協働しながらケアしていくことができました。

部門：1F 南ユニット（地域密着型小規模特養ホーム：いせ・みかわ）

実施報告

1. 日々の刺激を与えられるよう四季を感じて頂く工夫をします。

前半は、月に1度のペースでレクリエーションを行う事ができたが、後半は職員数の関係で思うような動きが出来なかった。今後も四季を感じられるような掲示物を工作や、全体のレクリエーションを企画していきたいです。

2. 入居者様との会話を多くし、入居者様の望みを引き出します。

積極的に入居者様と会話より望みや希望を引き出せてきています。更に全て実施できたらいいなと思います。

3. ご家族との話し合いを多くもちお互いの信頼関係を築きます。

今後はご家族との外出など計画ができ、良い信頼関係を築けるように努力します。

4. 職員が統一したケアを行えるよう職員同士「ほう・れん・そう」を徹底します。

小さなことでも「ほう・れん・そう」するよう心掛けました。ヒヤリハット報告も増え改善する話し合いの下で、今後も多職種との関係において、統一したケアを実践します。



桜餅作り



外食（ラーメン）

部門：1F 北ユニット（するが・さがみ）

実施報告

1. 入居者様への意思確認、希望確認を丁寧に行います。

入居者様の意志を確認し希望に添えるようにケアすることが出来るようになってきました。今後も入居者様の意志を大切にしたい介護を行っていききたいと思います。

2. 指示するような声掛けをしません。

職員全体で、丁寧な言葉を使うようにしようと努力しました。職員間で、互いの声掛けの仕方を聞いて、自分の声かけを改善していききました。

3. コミュニケーションと観察からニーズの把握に努めます。

その時々で困っている事や、希望している事に対応して来ましたが、未熟な所もあり把握する事ができなかったが、なるべく個々の思いに向き合い解決しストレスの少ない生活を提供できるようにしたいと思っています。

4. ご自分でできることと、介助が必要なことを正確に把握します。

できる時とできない時もありますが、入居者様の希望を聞きながら介助を行いました。より職員全体で、できる限り統一した介護の仕方徹底するように努めます。総括して、年間を通して優しい言葉掛けで入居者の意志を確認することができるようになってきましたが、まだ十分とは言えず、入居者の言葉として出てこない思いやニーズを察することなど今後の課題として行きます。



アビタで食事



日本平動物園見学

部門：2階ユニット（くすのき・もくせい）

実施報告

1. 入居者様が毎日「安心」して「楽しく」生活していただけるように支援します。

レクリエーションの充実を図り、外出や食のイベントレクなどではたくさんの笑顔が見られ、今後もユニット全体での行事やレクを増やしていきたいと思っています。

2. 生活の場として笑顔と思いやりのある毎日を過ごしていただけるように快適な環境作りをしていきます。

職員一同、常に生活の場である事を意識しながら整備を行い、入居者様が心地よく暮らすことができるよう努めることができました。



いちご狩り

入居者様、ご家族、職員が情報を共有し、職員が日々意識することによってケアの中での生活実践できたと思います。常にお互いを思いやることの努力を忘れず、ここにいるすべての人や関わる人々が、たくさんの幸せを心や体で感じられるような環境づくりをこれからのケアに活かし、今後につなげていきたいです。



「おいしそうでしょう。」

部門：3Fユニット（あまぎ・あしたか）

実施報告

1. 報告・連絡・相談を徹底します。

徐々に職員の意識も高くなり細かな報告、連絡ができていたと思います。ご家族への報告連絡等には行き違いが見られる時もあり、さらにこの徹底と見直しをしていきたいと思っています。



ケーキ作り

2. 日々の生活にメリハリをつけ過ごしていただけるようにします。



職員全体が入居者様の「一人ひとりの毎日はどうか」、慌ただしく業務に終わってしまい忙しさを理由に考える事ができていなかった点を感じます。今後は業務改善し、余裕を持って一人ひとりの生活を考えていけるよう、寄り添っていききたいと思います。

3. 季節を感じていただけるよう、レクリエーション、外出を多く取り入れます。

季節にあった行事やレクリエーションはより多くできたと思います。個々の外出においては、数回ほどでベランダや園内散歩程度にとどまってしまった点は今後の検討とします。

4. 明るく活気のある生活空間をつくり、職員は笑顔で絶やさず対応します。

朝の挨拶から帰りの挨拶までしっかり気持ち良くでき、職員全員が毎日元気に入居者様と楽しく過ごせていたと思います。

部門：ショートステイみぎわ園

実施報告

1. 看護と連携をとりながら個々の体調管理を行います。

10月より看護師が常駐する事でご利用者と関わりを多く取ってもらい普段からの様子を知った個々の対応ができました。ご利用者も体調の不安などを看護師に相談する事で安心して利用して頂き、介護職も直ぐに相談する事ができ、看護と介護で調整しながらご利用者の体調管理がされました。

2. 誤薬0を目指します。

食前・食後の服薬忘れが8件ありました。今後も薬の重要性を職員それぞれが再認識し誤薬0に努めます。

3. ご家族、居宅ケアマネジャー、他施設と情報の共有・交換を行い個別ケアの向上を目指します。

ケアマネ・他施設との情報の共有・交換をする事で個別ケアができましたが、1件ご家族の思いを汲み取ることが出来ず苦情がありました。今後ご家族とのコミュニケーションを図り信頼関係に努めます。

4. レクリエーション・行事を積極的に行い充実を図ります。

午前中塗り絵や脳トレの提供、昼食前口腔体操など日常レクを毎日行うことができ、さらに個別対応も進めながら、継続してレクリエーションの充実に努めます。

5. 利用者、家族に対し、気持ち良い挨拶をします。

ご利用者宅への送迎時、家族送迎時に明るく笑顔で挨拶ができました。

6. 稼働率90%を目指します。

めまぐるしく変化している利用状況の中、他職種連携にて達成できました。更に介護スキルを向上させ、他職種連携を強化し稼働率アップを目指します。

平成27年度は平均月間稼働率91.1%、平均利用者数18.2名/日でした。



「土用の丑」ぼんどーるにて



運動会



部門：ふようデイサービスセンター

実施報告

1. 一日平均利用者人数 24 名、平均稼働率 80%を目指します。

稼働率 75.5%、平均利用人数 22.6 名/日でした。また介護報酬改定による基本単価、加算の変更、さらに新規ご利用者での入所等により収入減となりました。

認知症実践者（有資格者）の配置加算要件の充実により、報酬効果を図りました。

2. ご利用者へのアンケートを定期的に行います。

アンケートによる趣味活動のサービス提供内容の充実、利用者担当制で職員を配置する等、細かな対応が取れました。

3. 広く他部門からの意見を取り入れたアイデアを形にします。

新規利用者獲得のため職員による他施設見学を行う等の情報収集や今後の方向性見直しをする目的からプロジェクトチームでの検討や部内会議での議論を重ね、将来に向けた新しいデイサービスの形を整える方向を探る 1 年でした。結果次年度に向けて『入浴』というひとつのサービステーマに職員一丸となり発想、発案をすることができました。また施設内の整理を行い新たなプレイスペース（畳）が生まれました。



節 分



集団ゲーム



工作の時間

初 詣



畳スペース



部門：デイサービスセンターみぎわ園（地域密着型認知症対応型デイサービス）

実施報告

1. 『地域密着型認知症対応型デイサービス』をより知って頂ける広報活動の実施。

稼働率は前年以上の実績を上げることはできませんでしたが、新規居宅介護支援事業所のケアマネジャーからご利用者を紹介頂くことができました。継続して広報活動を行って行きます。

2. 季節行事や屋外での歩行訓練、定期的な外食を企画します。またアンケートを取りご利用者及びご家族のニーズを把握し日々の活動に反映していきます。

今年度はご利用者が自分らしく笑顔で過ごして頂けるような生活支援を重視してきました。具体的にはご利用者及びご家族と話をする機会を多く持つようにし、要望を聞き取ることにより屋外での活動を率先して行うことや日常生活の中で体を動かしていただく機会を増やしできる限り自立した生活を送って頂けるように心がけ、実践することができました。

3. 季節行事や屋外での歩行訓練、定期的な外食を企画します。またアンケートを取りご利用者及びご家族のニーズを把握し日々の活動に反映していきます。

外食は年4回希望される方を対象として行いました。個別で行くため当日にご本人に決めていただき、行きたい所、食べたい物を聞いた上で出かけました。また季節行事ではその時期に最良の場所へ出かけることが出来ました。



外食にてヒレカツを食べに

4. 平均月間稼働率 80%、1 日当たり平均利用者 9.6 人を目指します。

平成 27 年度は平均月間稼働率 75.9%、利用者数 9.1 名でした。



花見（岩本山公園）



バラ見物（中央公園）



初詣（三日市浅間神社）



紅葉狩り（田貫湖）

部門：みぎわの里

実施報告

1. 職員やご利用者とのコミュニケーションを深めるため、笑顔で挨拶をします。

ご利用者の思いを尊重し笑顔であいさつとご利用者一人ひとりとコミュニケーションを深めることができました。



2. 多職種と情報共有し、報告・連絡・相談を徹底します。

多職種が連携を取り申し送りノートを活用して情報を共有し、報告・連絡・相談に努めました。

3. 地域行事へ参加し、いつでも気軽に立ち寄れる「寄り合い処」になれるよう心ある支援を行います。

地域防災訓練や地域サロンでの味噌作り等に利用者と参加して交流が図れました。

4. 協力医との連携を図り、医療ニーズの高い方への在宅生活を支援していきます。

ご利用者の健康状態変化時は随時主治医と連携を取り、早期に対応することができました。

5. 感染防止対策（標準予防策）を周知徹底していきます。

感染症標準予防策の周知徹底に努め、インフルエンザ・ノロウイルスの感染もなく事業の継続ができました。

6. 8月末までの登録者数を22名、各サービス稼働の80%提供を目指します。

登録人数は3月末で19名、平均稼働率66.0%で予定稼働率は、施設の認知度、地域周辺、医療関係者へのPR不足もあり達成できていませんでした。



味噌作り



富士山大学女子駅伝の応援

部門：ふよう居宅介護支援事業所

1. 平成27年度の総括

年当初は管理者の法人内異動に伴う管理業務の引き継ぎ、職員退職に伴う担当ケー

スの引き継ぎなどで落ち着かない年でありました。管理者変更においては次期管理者決定までに時間を要し、職員達にとっても不安な時期を与えてしまいました。また、主任ケアマネの退職により「特定事業所加算」の算定ができず減収となりました。職員増員せず4名体制を継続し一人あたりの担当ケースを増やし対応しました。年度後半からは事業所も落ち着きを取り戻し、ケアマネ業務を遂行しています。

2. 実施目標について

平均担当件数 30 件・自社事業所プラン 80%以上を目標に対して、H27 度末現在で平均担当件数 31 件（予防を含む）・自法人事業所利用率 66%でした。担当件数に関しては5名から4名体制となった為に目標担当件数を達成しましたが、総件数は死亡や施設入所等による減少に対する補填ができませんでした。予防支援件数に関しては吉原西部地域包括支援センターからの委託件数増、介護より支援へ移行される方が多く、件数としては増えています。

3. 研修等における自己研鑽について

今年度は定期的な事業所内研修や吉原西部包括支援センター主催による勉強会や事例検討会へ参加をしました。また介護支援専門員更新研修など、県主催研修への参加は昨年と比べ少なかったです。

4. 介護保険法改訂について

次年度に向けては富士市において「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始されます。全職員が総合事業の趣旨や制度を理解し、利用者やご家族に対して分かりやすく説明が行えるよう、職場内での伝達講習や研修機会を増やし対応していきます。

部門：富士市吉原西部地域包括支援センター

平成 27 年度は、地域包括ケアシステム構築のため、富士市が掲げている 5 つの基本目標に沿い、活動エリアの居宅介護支援事業所・サービス提供事業所をはじめ、医療機関、地域の民生児童委員協議会、地域福祉推進委員会等の各関係機関等との連携を強化すべく以下の事業を推進してまいりました。

1. 総合相談事業について、まちの駅登録を行い、より身近な相談機関としてワンストップサービスを徹底し対応致しました。また、新たな移動相談窓口としてスーパーマーケットの店先を借り、地域課題の発掘にも着手致しました。相談件数としては 510 件の相談に対応致しました。
2. 介護予防ケアマネジメント事業について、直営の要支援 1・2 の方に対して予防プラン作成を継続しつつ、委託している方に対しても担当者会議に必ず出席する等の活動を行ってきました。一次予防事業、二次予防事業について、昨年同様に電話での勧誘その後のアセスメント及び評価までの過程を確実に行いました。
(※資料 2 参照)

3. 権利擁護事業について、虐待ケースに対して早期対応に徹底し解決に向け取り組みました。権利擁護相談(成年後見・消費者被害含)として 10 件。虐待相談として 9 件の相談に対応致しました。
4. 包括的継続的ケアマネジメント事業について、地域の居宅介護支援事業所ケアマネに対し後方支援（アドバイスを含む）活動を 117 件対応致しました。
5. 認知症サポーター養成講座について、年間 14 回開催し、計 402 名のサポーター養成を行いました。
6. 個別の問題に対しての地域ケア会議を 11 件行いました。また、シリーズで行っている地域ケア会議を吉原地区の町内単位でコアな形で『災害にあっても何とかしたい！何とかしよう！！何とかなる！！！地域づくりを目指して』と題して、民生委員・福祉推進会・社会福祉協議会・富士市福祉総務課と協力し、地域住民に対して開催致しました。

吉原西部エリア 地域ケア会議



国久保地区の様子

資料 1：介護予防給付実績状況

平成 27 年度 介護予防給付ケース表		包 括
直 営	要支援 1	2 1 6 件
	要支援 2	4 2 1 件
	小 計	6 3 7 件
委 託	要支援 1	7 6 0 件
	要支援 2	1, 4 3 1 件
	小 計	2, 1 9 1 件
合 計		2, 8 2 8 件

資料 2：一次予防事業・二次予防事業実施状況

事業名	教室名	回 数	参加者総数
一次予防事業	脳の健康教室（1 教室 10 回）	1 回	2 5 名
	介護予防教室（1 教室 3 回）	5 回	1 1 1 名
	脳いきいき教室（1 教室 3 回）	3 回	7 8 名
二次予防事業	転ばん教室（1 教室 12 回）	4 回	6 8 名
	歯つらつ教室（1 教室 6 回）	1 回	1 6 名

介護保険事業所関係資料

資料1 平成27年度面会者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
面会者	468	629	541	640	693	551	539	606	569	696	470	570	6,972

資料2 各事業所利用者平均年齢及び平均介護度（平成28年3月末）

		特養	ショートステイ	みぎわデイ	ふようデイ	みぎわの里	ふよう居宅
年齢	男	83.5	83.0	79.8	80.1	82.0	82.8
	女	86.5	87.1	83.3	87.7	88.2	84.6
	平均	85.8歳	86.3歳	81.9歳	85.8歳	85.3歳	84.0歳
介護度	男	4.05	2.73	3.00	1.94	2.89	1.66
	女	3.79	2.76	3.89	1.96	3.00	1.86
	平均	3.85	2.76	3.53	1.95	2.95	1.79

資料3 特養平均入居期間

男性：42ヶ月（3.5年）	女性：45.1ヶ月（3.8年）	平均：44.3ヶ月（3.7年）
---------------	-----------------	-----------------

資料4 特養入退居者件数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	1	2	0	3	1	0	2	0	3	1	1	2	16
退居	1	2	1	2	1	0	2	1	2	1	1	2	16

資料5 年度別特養入退居者数

(単位：名)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入居	27	21	23	18	16
退居	28	20	23	18	16

資料6 外来受診一覧表

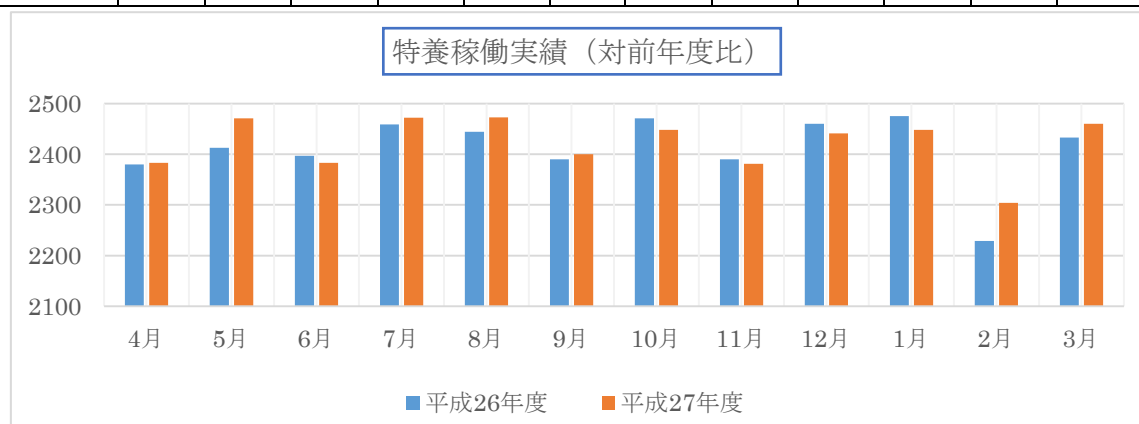
受診医療機関	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
青葉クリニック	11	6	16	8	5	8	8	27	16	16	9	9	139
富士中央病院 内科									1				1
整形外科		1											1
泌尿器科	1	2	3	2	1	1	2	2	2	2			18
救急外来	1		1					1					3
婦人科				1				1				1	3
循環器科		1	1						2				4
眼科		1						1					2
外科					3	1		1		1		1	7
耳鼻科													0
皮膚科	1	1	1	1		1	2						7
聖隷富士病院 内科													0
眼科		2				1		1	1		1		6
外科													0
整形外科								1					1
循環器科													0
皮膚科													0
泌尿器科													0
鈴木整形外科													0
月岡医院	3	1											4
かみで耳鼻科								1	1	2			4
救急医療センター									1				1
鷹岡病院					1				2		2		5
渡辺病院整形外科													0
池辺クリニック	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
横割皮膚科クリニック	1			2	4	2	4	3	6	7	4	4	37
蒲原病院 救急外来							1						1
川村病院													0
前田整形外科	1	2	3	3	6	2	2	1	3	2	3	2	30
富士脳研病院							2						2
受診合計	21	19	29	19	22	18	23	42	37	32	21	19	302

資料7 各事業所稼働率 対前年度比表

1. 特別養護老人ホーム みぎわ園

(入居延日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度	2380	2413	2397	2459	2444	2390	2471	2390	2460	2475	2229	2433	28941
H27年度	2383	2471	2383	2472	2473	2400	2448	2381	2441	2448	2304	2460	29064
27-26	3	58	-14	13	29	10	-23	-9	-19	-27	75	27	123
稼働率	99.3%	99.6%	99.3%	99.7%	99.7%	100%	98.7%	99.2%	98.4%	98.7%	99.3%	99.2%	99.3%

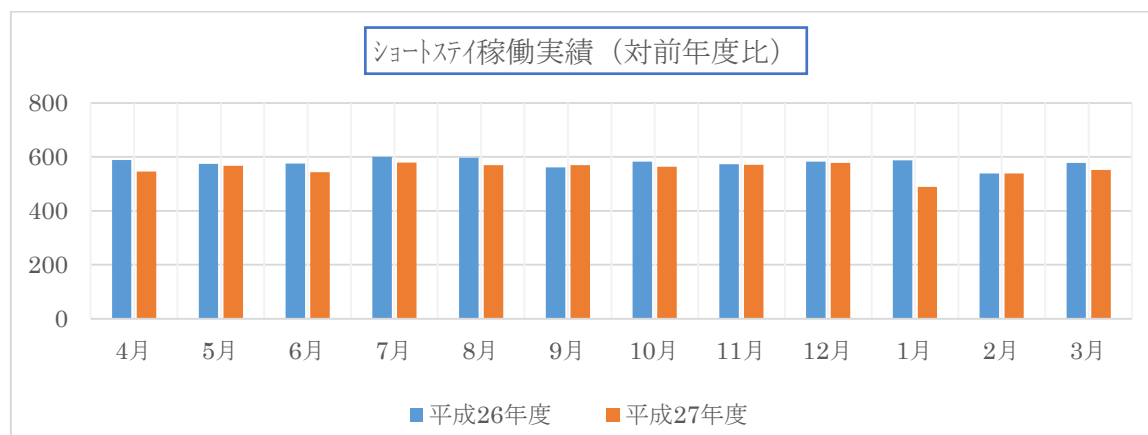


2. ショートステイみぎわ園

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度	589	574	575	600	597	561	582	573	582	587	539	578	6937
H27年度	546	567	543	579	570	569	563	571	578	489	539	552	6666
27-26	-43	-7	-32	-21	-27	8	-19	-2	-4	-98	0	-26	-271
稼働率	91.0%	91.5%	90.5%	93.4%	91.9%	94.8%	90.8%	95.2%	93.2%	78.9%	92.9%	89.0%	91.1%

* H28/1/23~1/25 感染症対策の為に受入中止

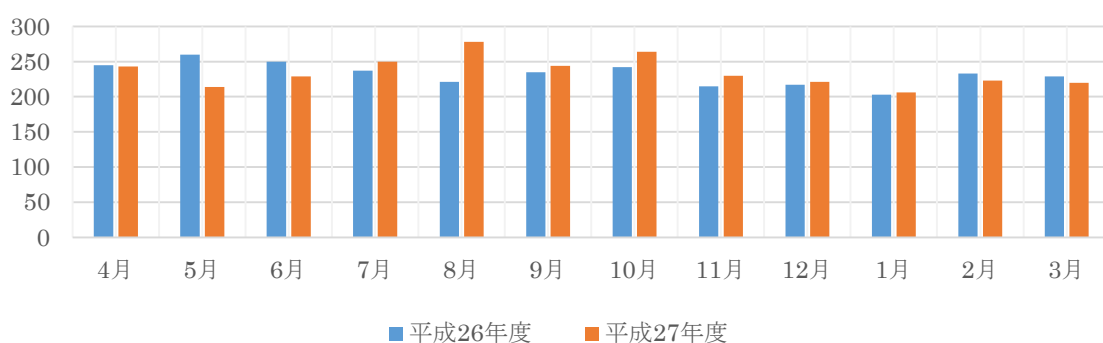


3. デイサービスセンターみぎわ園

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度	245	260	250	237	221	235	242	215	217	203	233	229	2787
H27年度	243	214	229	250	278	244	264	230	221	206	223	220	2822
27-26	-2	-46	-21	13	57	9	22	15	4	3	-10	-9	35
稼働率	77.9%	68.6%	73.4%	77.2%	89.1%	78.2%	81.5%	76.7%	73.7%	71.5%	74.3%	67.9%	75.9%

デイサービスみぎわ園稼働実績（対前年度比）

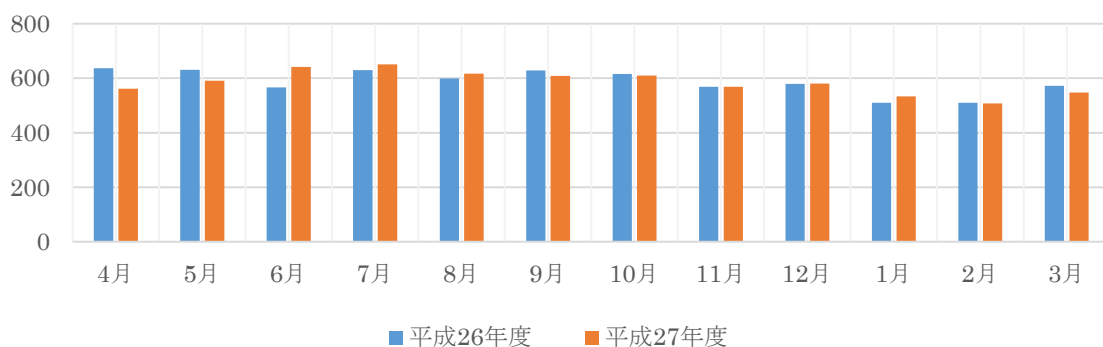


4. ふようデイサービスセンター

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度	637	631	566	629	599	628	616	568	579	510	510	572	7045
H27年度	562	591	641	651	617	609	610	568	580	533	508	547	7017
27-26	-75	-40	75	22	18	-19	-6	0	1	23	-2	-25	-28
稼働率	72.1%	75.8%	82.2%	80.4%	79.1%	78.1%	75.3%	75.7%	77.3%	74.0%	67.7%	67.5%	75.5%

ふようデイサービス稼働実績（対前年度比）



5. ふよう居宅介護支援事業所

(プラン件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度	137	135	136	137	138	135	133	131	126	128	129	131	1596
H27年度	130	131	131	131	127	127	123	126	128	124	124	124	1526
(要介護)	99	100	101	103	98	97	94	98	99	93	94	96	1172
(要支援)	31	31	30	28	29	30	29	28	29	31	30	28	354
27-26	-7	-4	-5	-6	-11	-8	-10	-5	2	-4	-5	-7	-70

*ケアマネ一人当たりの担当件数（カッコ内は要支援件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H26年度	27(5)	27(5)	27(5)	27(5)	28(5)	27(5)	27(4)	26(5)	25(5)	26(5)	26(5)	26(6)
H27年度	26(6)	26(6)	26(6)	33(7)	32(7)	32(7)	31(8)	32(7)	32(7)	31(8)	31(8)	31(7)

*H27/8月よりケアマネ4人体制

資料8 実習生受け入れ実績

学校名	人員	実習期間	延日数
県立富士宮東高等学校 (福祉科)	3	5月11日～5月27日	12日
	3	7月14日～7月27日	10日
	3	10月5日～10月22日	11日
静岡福祉医療専門学校	4	6月22日～7月24日	25日
	3	9月2日～9月4日	3日
	1	H28年1月18日～1月30日	10日
京都外国語大学	1	8月10日～8月14日	5日
御殿場西高等学校	1	12月1日～12月4日	4日
富士市立高等学校	1	3月8日	1日
合 計	20名		81日

資料9 職員研修状況表

入所部門：特別養護老人ホーム みぎわ園

年月日	研 修 名	主 宰	研修先	職種	人数
H27. 5. 12 H27. 6. 22	喀痰吸引等研修（第2号研修）	（福）聖隷福祉事業団	沼津市	介護	1
H27. 5. 22	給食協会総会	富士市給食協会	富士市	栄養士	1
H27. 6. 15	複式簿記入門講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務	1
H27. 6. 16 H27. 6. 19	基礎経理講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務	1
H27. 6. 23 H27. 6. 24	平成27年度 新任職員研修	社会福祉人材センター	静岡市	介護	1
H27. 7. 8 H27. 7. 9	平成27年度 新任職員研修	社会福祉人材センター	三島市	介護	2
H27. 7. 8 H27. 9. 2	介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ	介護支援専門員協会	静岡市	ケアマネ	2
H27. 7. 11	メイプル展示会	メイプル	沼津市	介護	6
H27. 7. 13	新会計基準における経理実務講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務	2
H27. 7. 14	社会福祉法人会計（介護保険施設）	県社会福祉協議会	静岡市	事務	2
H27. 8. 4	福祉サービス苦情解決研修会	県社会福祉協議会	静岡市	介護	1
H27. 9. 3	ターミナルケア入門講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護	2
H27. 9. 11	静岡県集団指導	福祉指導課	沼津市	介護	2
H27. 9. 18	事故原因分析と再発防止策	県社会福祉協議会	静岡市	介護	1
H27. 9. 30	介護力向上研修～研究発表 Again!～	県老施協	静岡市	介護	2
H27. 10. 4 H27. 11. 29	介護福祉士実習指導者講習会	県介護福祉士会	静岡市	介護	1
H27. 10. 5	富士圏域福祉施設 初任者研修会	圏域福祉施設長会	富士市	介護	1
H27. 10. 11 H27. 12. 6	感染症対策支援セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護	1
H27. 10. 14	平成27年度 見学研修会	給食協会富士支部	清水区	栄養士	3
H27. 10. 27	排泄ケア講座	社会福祉人材センター	静岡市	介護	1
H27. 11. 2	調理技術研修会	給食協会富士支部	富士市	栄養士	1
H27. 11. 9	お年寄りに元気になってもらうためのワザ	福祉指導課	静岡市	介護	1
H27. 11. 11 H27. 11. 12	全国老人福祉施設大会 東京大会	老施協	東京都	事務	1
H27. 11. 23	プロシキター養成研修	介護福祉士会	静岡市	介護	2

H28. 1. 20	介護ロボット展示説明会	県介護保険課	沼津市	介護	3
H28. 1. 28	平成 27 年度事例研究発表会	静岡県給食歌協会	静岡市	栄養士	2
H28. 2. 16	新会計基準における決算事務講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務	1
H28. 2. 18	身体拘束廃止フォーラム	介護福祉士会	静岡市	介護	3
H28. 3. 18	富士市集団指導	介護保険課	富士市	事務	2

在宅部門：ショートステイみぎわ園・デイサービスみぎわ園・ふようデイサービス

年月日	研 修 名	主 宰	研修先	職種	人数
H27. 5. 12 H27. 5. 26	喀痰吸引等研修（第 2 号研修）	聖隷福祉事業団	沼津市	介護	1
H27. 6. 4 H27. 8. 26	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	三島市	介護	1
H27. 6. 12	個別機能訓練計画の作り方	福祉と介護研究所	静岡市	看護	1
H27. 6. 16	文章力向上講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護	1
H27. 6. 17	介護記録の書き方講座	社会福祉人材センター	静岡市	介護	1
H27. 6. 22	運営推進会議における外部評価	事業者連絡会	静岡市	介護	1
H27. 6. 23 H27. 6. 24	平成 27 年度 新任職員研修	社会福祉人材センター	静岡市	介護	1
H27. 6. 30	タッピングタッチ基礎講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護	1
H27. 7. 2	認知症患者の看護 I	県看護協会	静岡市	看護	1
H27. 7. 8 H27. 7. 9	平成 27 年度 新任職員研修	社会福祉人材センター	三島市	介護	1
H27. 7. 11	メイプル展示会	メイプル	沼津市	介護	2
H27. 7. 20 H27. 8. 30	介護福祉士実習指導者講習会	県介護福祉士会	静岡市	介護	1
H27. 9. 11	静岡県集団指導	介護指導課	沼津市	相談員	1
H27. 9. 28 H27. 12. 22	認知症介護実践者研修	県介護福祉士会	静岡市	介護	1
H27. 9. 30	第 7 回高齢者福祉研究 発表会	県老協	静岡市	介護	1
H27. 10. 5	富士圏域福祉施設 初任者研修会	圏域福祉施設長会	富士市	介護	1
H27. 10. 11 H27. 12. 6	感染症対策支援セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護	1
H27. 10. 27	排泄の講座	社会福祉人材センター	静岡市	介護	1
H27. 11. 9	お年寄りに元氣になってもらうワザ	福祉指導課	静岡市	介護	1
H27. 11. 23	プリセプター養成研修	介護福祉士会	静岡市	介護	1

H27. 12. 6 H27. 12. 24	認知症対応型サービス事業所管理者研修	県社会福祉協議会	静岡市	相談員	1
H28. 1. 8 H28. 3. 16	認知症介護実践者研修	介護福祉士会	静岡市	介護	1
H28. 1. 20	介護ロボット展示説明会	県介護保険課	沼津市	介護	1
H27. 2. 8 H28. 2. 9	小規模多機能計画作成担当者研修	県長寿政策課	静岡市	ケアマネ	1
H28. 2. 18	身体拘束廃止フォーラム	介護福祉士会	静岡市	介護	3
H28. 3. 18	富士市集団指導	介護保険課	富士市	相談員	2

ふよう居宅介護支援事業所

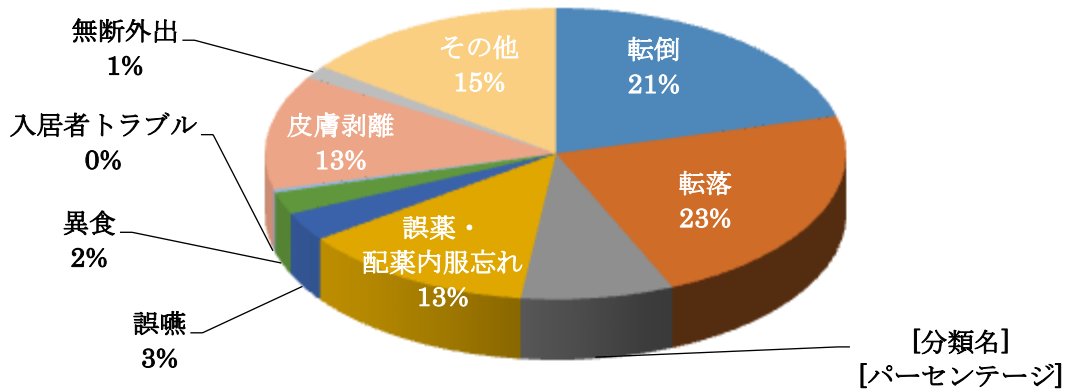
年月日	研 修 名	主 宰	研修先	職種	人数
H27. 6. 2 H27. 7. 24	介護支援専門員 更新研修 B2	介護支援 専門員協会	静岡市	ケアマネ	1
H27. 7. 8 H27. 8. 28	介護支援専門員 専門研修課程 I	介護支援 専門員協会	静岡市	ケアマネ	1
H27. 7. 8 H27. 8. 28	介護支援専門員 専門研修課程 I	介護支援 専門員協会	静岡市	ケアマネ	1
H27. 9. 11	静岡県集団指導	福祉指導課	沼津市	ケアマネ	1
H27. 10. 7	第 42 回 国際福祉機器展		東京都	ケアマネ	2

資料 10 リスクマネジメント集計(インシデント・アクシデント報告)

1. アクシデント内容

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
転 倒	59		2	2	7	6	4	7	15	1	6	6	3
転 落	64	3	3	2	3	3	2	9	9	3	12	8	6
配薬ミス	24					2	4	1	2	2	6	7	
誤薬・配薬内服忘	37	2	8	2	2		2	5	5	3	2	3	3
誤 嚥	9	1				1	1	1	3		1		1
異 食	7							1		1	3	2	
入居者間トラブル	1										1		
皮膚剥離	36	1	5	2	2	3	1	3	2	7	3	2	5
無断外出	4	2									1		1
その他	42	2		1	3	1	2	12	8	3	3	3	4
合 計	283	11	18	9	17	16	16	39	44	21	38	31	23

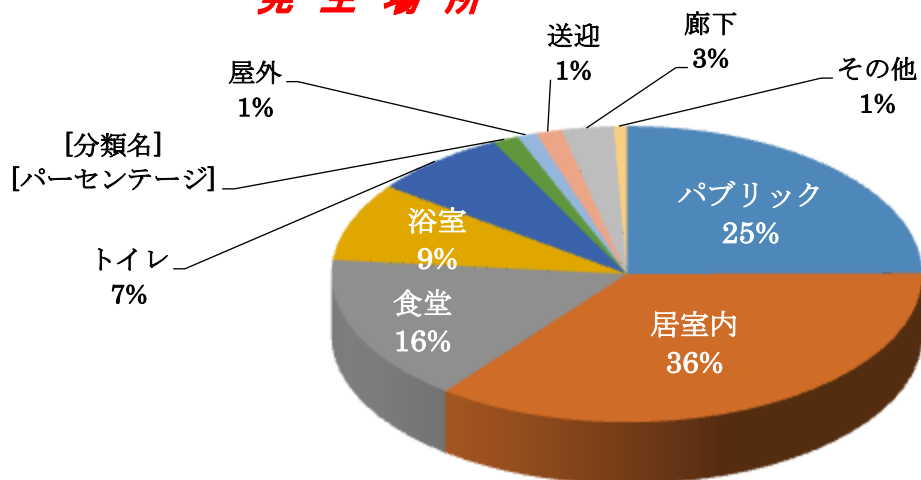
アクシデント内容



2. 発生場所

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
パブリック	70	4	6	3	6	5	3	12	8	4	9	6	4
居室内	100	3	6	2	8	3	5	17	16	7	10	13	10
食 堂	45	1	3	2	2	3	6	2	8	4	6	4	4
浴 室	24		1				1	3	5	4	6	1	3
トイレ	21	2	1			4		1	5	1	4	3	
介護ステーション	4						1					3	
屋 外	3							1	1		1		
送 迎	4			1	1						1		1
廊 下	8	1	1	1		1		1	1		1	1	
その他	2							2		1			1

発生場所



資料 11 H27 年度固定資産取得・消却状況表

【 取 得 】

特別養護老人ホーム みぎわ園

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	取 得 の 理 由
1306	消毒保管庫	H27. 4. 30	574, 020 円	
1306	デジタルワイヤレスアンプ・マイク	H27. 5. 30	145, 800 円	
1306	リクライニング式車椅子	H27. 12. 31	122, 880 円	
1306	PBX 更改工事	H28. 3. 31	4, 125, 600 円	
1202	外階段	H27. 12. 31	2, 300, 000 円	
1202	ナースコール更改工事	H28. 3. 31	9, 180, 000 円	
1310	小規模特養ソフトウェア	H27. 8. 31	313, 200 円	
1305	スズキ ラパン 富士山 581 こ 1048	H28. 2. 29	192, 220 円	ふよう居宅
1202	空調設備	H28. 11. 30	4, 031, 136 円	ふようデｲｲﾍﾞｽ

【事業所変更】

特別養護老人ホーム みぎわ園 → ふようデｲｲﾍﾞｽ

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	取 得 の 理 由
1306	食器洗浄機	H25. 10. 31	422, 000 円	事業所間移動

【 廃 棄 】

特別養護老人ホーム みぎわ園

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価	廃棄・売却等の理由
1306	塩素消毒器 4	H19. 1. 31	－1 円	修理不可（部品供給なし）
1306	ミキサー	H18. 6. 30	－1 円	破損の為
1306	PHS システム	H15. 3. 31	－1 円	PBX. NS コール機種変更の為
1306	タイムレコーダー	H15. 3. 31	－1 円	出金記録変更に伴う使用不可
1306	ﾊﾟﾂｺﾝ	H15. 3. 31	－1 円	破損の為
1306	超音波治療装置	H8. 7. 1	－1 円	修理不可（部品供給なし）
1306	低周波治療装置	H8. 3. 31	－1 円	修理不可（部品供給なし）
1306	マイクロ治療装置	H8. 3. 31	－1 円	修理不可（部品供給なし）
1306	電熱式ホットパック	H8. 3. 31	－1 円	修理不可（部品供給なし）
1306	サーモスカート	H8. 3. 31	－1 円	修理不可（部品供給なし）

資料 12 施設整備取替及び修理修繕工事一覧（10 万円以上）

内 容	場 所	施行業者	金 額
居室欄間改修工事	ショートステイ	渡邊建設工業(株)	206,000 円
荷物用エレベーター基盤交換	みぎわ園	マキエアーアセンソール(株)	141,234 円
温冷配膳車修理	ショートステイ	ホシザキ湘南(株)	183,600 円
簡易ベットの鉄骨部修繕	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	149,500 円
厨房内壁タイル補修	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	126,000 円
機材倉庫錠前取替工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	159,000 円
エレベーター部品交換	みぎわ園	マキエアーアセンソール(株)	322,898 円
駐車場雨水対策工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	324,000 円
空調機修繕	みぎわ園	(株)アノ	461,160 円
空調室外機修繕	みぎわ園	(株)アノ	299,160 円

資料 13 保守管理・業務委託一覧

保守保全内容	契約内容	頻度	形態	業者名
消防機器設備	定期点検・行政報告	2 回/年	年次	サノコ防災(株) 深沢消防産業(株)
ガス漏れ	警報機設備点検	随時	設置時	静岡ガス(株)
電気設備	定期点検	1 回/月	年次	鈴木 博 関東電気保安協会
建物設備・特殊建物等 定期検査	定期点検・行政報告	1 回/2 年	指名	井上建設(株)
エレベーター・荷物用リフト	定期点検・行政報告	1 回/月・随時	年次	マキエアーアセンソール(株)
清掃・消毒点検	施設内環境整備	3 回/週・随時	年次	ダスキン富士宮
利用者リネン	洗濯等委託	3 回/週	年次	(株)デイベンロイ
貯水槽清掃・水質検査	法定清掃・管理点検	1 回/年	年次	ニッケン消毒(株)
給食業務	調理配膳配送	毎日	年次	(株)角山
PC・介護ソフト管理	PC ソフト保守・バージョンアップ	随時	設置時	(株)ゆとり (株)コンピュータシステム研究所
自動ドア保守・管理	定期点検・整備	2 回/年	年次	ナブコシステム
洗濯業務	利用者衣類等洗濯	4 回/年	年次	富士シルバー人材センター